

## 平成 17 年度 事業報告

(自平成 17 年 4 月 1 日～至平成 18 年 3 月 31 日)

政府が 12 月に公表した平成 17 年度の経済動向によると、景気は穏やかな回復を続けており、国内総生産の実質成長率は、2.7%程度（名目成長率は 1.6%程度）になると見込まれている。

電気学会を取り巻く事業環境では、電気事業における電力自由化が今年度から 50kW 以上の全高圧需要家を対象になるなど益々競争原理の導入が進展する産業界と、学界においても少子化、理工系（特に電気系）離れ、また学校経営における収益重視など厳しい環境下にある。

電気学会では運営基盤強化を目指して設置した「経営戦略会議」の本格機能化により各事業毎の計画・実施・評価・改善（PDCA）の経営サイクルの実施を本年度から本格的に開始した。

平成 17 年度の事業実績の概要は以下の通りである。

### 1. 相互研鑽（ピアレビュー）の推進：学会使命である研究活動の更なる活性化を目指して。

- 1) 部門の独自性を発揮した活動活性化：部門事業の「論文誌の発行」、「部門大会の開催」、「研究会活動」、「調査専門委員会活動」は部門の独自性を基にした総合効率の向上を図って実施した。また活性化策として「研究体系の見直し」、「産学連携の促進」、「国際活動の推進」そして「広報活動の推進」などにおいても独自性を発揮した取り組みを実施した。
- 2) 国際活動の活性化：① 2005 年 7 月に中国昆明市で開催された ICEE（電気技術国際会議）2005 代表者会議へ論文の国際共同査読の実施を含む「ICEE-Technical Committee (TC)」の設置提案、② 同年 4 月新潟市で開催された IPEC-Niigata 2005 への推進支援、③ 部門大国際化活動との協調支援、④ 海外会員増員方策の検討などを推進し所期の成果を得た。
- 3) 部門・支部間の連携強化による活動活性化：前年度に策定した部門・支部間の「情報連絡」・「協力要請」の運用制度の更なる普及と促進を図って各種講演会、講習会を実施した。
- 4) 電気規格調査会が制定する JEC 規格のあり方：「日本工業標準調査会」の特定標準化機関（CSB）制度や新 JIS マーク制度、強制法規への JIS 規格引用促進など内外の動向を踏まえ、電気学会としての規格標準化事業への取り組み方針を再確認するアドホック委員会を設置し、JEC のあり方を見直した検討結果を答申書に取り纏めた。

### 2. 情報発信の推進：広く内外へ情報発信することにより学会のステータス向上を図る。

- 1) 部門（論文）誌の国際化：昨年度から 5 部門の論文

誌は J-Stage に電子掲載を開始したが、更に平成 18 年 1 月から「英文梗概（Extended Summary）」を論文の前置部分に追加することとして国際化の促進を図った。

- 2) 共通英文論文誌の発行：平成 18 年 5 月から隔月発行する共通英文論文誌の論文募集から発行運営管理に至るまでの一連の事業構築を実施した。
3. 人材育成の推進：電気分野の技術者を育成する教育支援事業を着実に推進する。
  - 1) JABEE 認定審査：本年度「電気・電子・情報通信分野」での新規、中間審査および「情報関連分野」での協力を関連学会とともに実施した。担当分野での認定審査プログラム数は相当数に達した。
  - 2) 「継続教育実行部会」の立ち上げ：昨年度答申があった「技術者教育センター構想」の中で提案があった継続教育事業を実行する「継続教育実行部会」を立ち上げるコアメンバーが決定し、技術者資格制度の構築も考慮して事業化を推進する基本活動計画の検討に着手した。
4. 社会への貢献と電気技術への理解活動の推進：「社会貢献」と「社会啓発」の積極推進。
  - 1) ホームページの刷新：本部・部門・支部の各トップページ間の調整も終了し最終段階に至った。新デザインのホームページの公開時期は平成 18 年度明けの見込みとなった。
  - 2) 一般社会人向けシンポジウムの開催：平成 18 年 2 月に経団連ホールで「若者へ電気の夢を」と題するパネル討論会を開催した。
  - 3) 若年層への啓発活動：「世界物理年 2005」の国内行事に物理系学会とともに参加し、若年層向けに電気先端技術を平易な言葉や展示物により解説する啓発活動を実施した。
  - 4) IEEJ プロフェッショナル制度の立ち上げ：学会会員の有資格者による各種社会貢献活動を目指した制度に約 60 名の登録を頂いた。都内中小企業の技術者向けセミナーを開催した。
5. 学会組織・運営基盤の強化：会員サービス向上に向けた学会運営基盤の拡充を図る。
  - 1) 「経営戦略会議」の機能恒常化：学会事業の収支改善を採り込んだ業務改善 PDCA サイクルの推進を定常化し、更なる事業効率向上策を継続実施する改善システムの確立を図った。
  - 2) 部門収支改善策：部門の活性化と収支改善策を検討するため、各部門に事業毎の収支データを的確に提

示できるようにして、PDCAの事業改善サイクルを効果的に評価・改善できるよう予算策定シートを含む管理システムを確立した。

- 3) 会員増員キャンペーン：平成10年度、13年度に引き続き17年度は「入会金免除」を含む「入会増員」と「退会防止策」のキャンペーンを全国大で実施した結果、平成17年度末の会員数は前年度末数値を超え24,580名となり会員数減少に歯止めをかけることができた。
- 4) 「予算方式の見直しWG」答申案の取り纏め：本部・部門・支部への「配賦方式」、「部門活性化資金の見直し」に関する答申案を取り纏め提案した。
- 5) 「ieeシステム(OA更新)」の運用開始：①事務局業務の高効率化、②会員サービスの充実などを目指した新規OAシステムが今年度上期に運用を開始した。
- 6) 出版事業の活性化：「出版事業」の基礎データとなる「市場調査・市場分析(マーケティング)」を実施し、電気学会としての現状認識と中長期に亘る「事業戦略」の取り纏めを行い関係会議へ報告した。教科書は学校教育の時代変化を先取りした見直

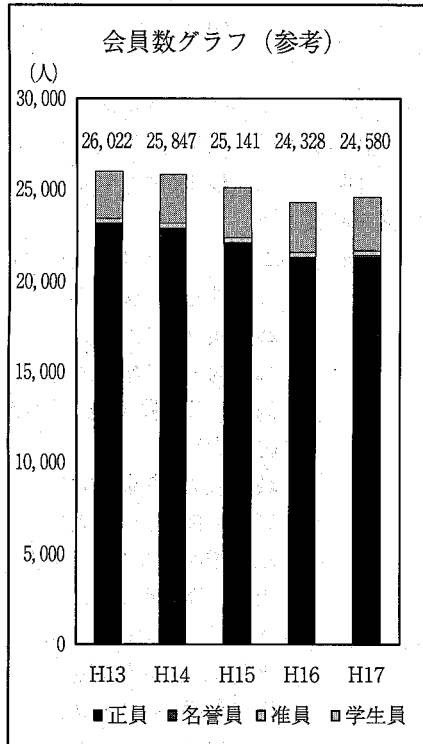
しを実施することとした。

- 7) 「技術者倫理検討委員会(委員長：関根泰次東京理科大教授)」の設置：電気分野でも発生する技術倫理に関連した企業不祥事などを鑑みて、技術者である会員はこの問題に対して如何に対処すべきかを考える検討委員会を発足させた。初年度は倫理に関する各界の取組み状況の調査結果などを取り纏め、3月開催の全国大会シンポジウムで成果を発表した。
- 8) 広範な学会活動の推進：
  - ・「電気・情報関連学会連絡協議会」では「継続教育支援事業(JABEE, CPD)」、「事務局業務のIT化」、「情報の国際発信(含英文論文発行)」、「社会啓発活動(合理系離れ対策)」、「日本学会協議協力方策」などの情報交換を実施した。今年度は電気学会が幹事学会として2回/年度の開催を取り纏めた。
  - ・日本機械学会と会長懇談会を定期開催するとともに、今年度は東京支部が毎年夏休みに国立科学博物館で開催する「サイエンススクエア」を「世界物理年2005」協賛事業として連携して実施した。

## 1. 会 員

### (1) 年度別会員数

| 項目  | 正員     | 名誉員 | 准員  | 学生員   | 合計     |
|-----|--------|-----|-----|-------|--------|
| H16 | 21,282 | 41  | 280 | 2,725 | 24,328 |
| H17 | 21,331 | 38  | 323 | 2,888 | 24,580 |



### (2) 事業維持員の異動

|    | 社数  | 口数  |      | 社数  | 口数    |
|----|-----|-----|------|-----|-------|
| 入会 | 9   | 9   | 口数増加 |     | 34    |
| 退会 | -18 | -70 | 口数減少 |     | -10   |
|    |     |     | 期末現在 | 472 | 3,317 |

### (3) 期末支部別会員数

|       | 正員     | 名誉員 | 准員  | 学生員   | 合計     |
|-------|--------|-----|-----|-------|--------|
| 北海道支部 | 385    | 0   | 2   | 78    | 465    |
| 東北〃   | 901    | 2   | 6   | 109   | 1,018  |
| 東京〃   | 10,964 | 21  | 158 | 1,225 | 12,368 |
| 東海〃   | 2,863  | 5   | 42  | 383   | 3,293  |
| 北陸〃   | 527    | 0   | 7   | 91    | 625    |
| 関西〃   | 3,142  | 8   | 37  | 341   | 3,528  |
| 中国〃   | 780    | 0   | 20  | 146   | 946    |
| 四国〃   | 389    | 0   | 14  | 99    | 502    |
| 九州〃   | 1,380  | 2   | 37  | 416   | 1,835  |
| 合 計   | 21,331 | 38  | 323 | 2,888 | 24,580 |

### (4) 期末部門別会員数 (登録数)

|       | 正員     | 名誉員 | 准員  | 学生員   | 合計     |
|-------|--------|-----|-----|-------|--------|
| A 部門  | 3,150  | 5   | 53  | 542   | 3,750  |
| B 部門  | 8,323  | 20  | 92  | 800   | 9,235  |
| C 部門  | 4,397  | 9   | 92  | 597   | 5,095  |
| D 部門  | 5,469  | 3   | 71  | 758   | 6,301  |
| E 準部門 | 1,364  | 1   | 16  | 204   | 1,585  |
| 合 計   | 22,703 | 38  | 324 | 2,901 | 25,966 |

※複数部門登録者の重複を含む

## 2. 平成 18 年度役員

平成 18 年 5 月の通常総会で退任および新規役員は次の通りである。

### (1) 本部役員

[平成 17 年度退任役員]

会 長：長谷川 淳(函館工業高専)  
会長代理：野嶋 孝(中部電力)

副 会 長

(総務企画)：白田誠次郎(日本工  
管)

(会 計)：高木洋隆(中部電力)

(編 修)：松瀬貢規(明治大)

(研究経営)：佐々木三郎(電力中  
研)

専務理事：村岡泰夫(電気学会)

総務企画理事：滝沢照広(日立製作  
所)

会計理事：青嶋義晴(関西電力)

編修理事：日高邦彦(東京大)

研究経営理事：田井一郎(東 芝)

A 部門長：井上良之(東芝テクノ  
コンサルティング)

B 部門長：石井 勝(東京大)

C 部門長：下位絏一(富士通)

D 部門長：大西公平(慶應義塾大)

E 準部門長：森泉豊栄(東京工業大)

北海道支部長：西谷 健一(北海道工  
業大)

東北支部長：前川文章(東北電力)

東京支部長：塚本修巳(横浜国立大)

東海支部長：松井信行(名古屋工業  
大)

北陸支部長：作井正昭(富山大)

関西支部長：島崎眞昭(京都大)

中国支部長：白髭修一(中国電力)

四国支部長：原田律夫(四国電力)

九州支部長：芦塚日出美(九州電力)

監 事：貞川郁夫(日本 AE パワ  
ーシステムズ)

[平成 18 年度新規役員]

定款細則に基づき昇格、重任および  
改選された方は、アンダーラインで示  
す。

会 長：野嶋 孝(中部電力)

会長代理：仁田旦三(東京大)

副 会 長

(総務企画)：滝沢照広(日立製作  
所)

(会 計)：青嶋義晴(関西電力)

(編 修)：日高邦彦(東京大)

(研究経営)：田井一郎(東 芝)

専務理事：村岡泰夫(電気学会)

総務企画理事：内藤雄順(中部電力)

会計理事：片岡和久(東京電力)

編修理事：大木義路(早稲田大)

研究経営理事：石井 勝(東京大)

A 部門長：岡本達希(電力中研)

B 部門長：池田久利(東 芝)

C 部門長：宮道壽一(宇都宮大)

D 部門長：齋藤涼夫(東 芝)

E 準部門長：奥山雅則(大阪大)

北海道支部長：吉川照一(北海道電  
力)

東北支部長：一ノ倉 理(東北大)

東京支部長：中村秋夫(東京電力)

東海支部長：大熊 繁(名古屋大)

北陸支部長：岩原正吉(金沢大)

関西支部長：八木重典(三菱電機)

中国支部長：奥村浩士(広島工業大)

四国支部長：大西徳生(徳島大)

九州支部長：和田 清(九州大)

監 事：佐藤裕雄(北日本電線)

同 　：福永定夫(ジェイ・パワ  
ーシステムズ)

### (2) 部門および支部役員

平成 18 年度改選された方は、アン  
ダーラインで示す。また、支部役員で  
\*印は支部長推薦の支部協議員、△印  
は支所長を示す。

◎部門役員

A 部門

部 門 長：岡本達希(電力中研)

副部門長：前田秀明(理化学研究所)

同 　：湯本雅恵(武蔵工業大)

総務企画担当：大下陽一(日立製作  
所)

同 　：水野幸男(名古屋工業大)

会計担当：藤井 隆(電力中研)

同 　：寺井清寿(東 芝)

編修担当：金子双男(新潟大)

同 　：山野芳昭(千葉大)

研究経営担当：井上光輝(豊橋技科  
大)

同 　：武藤浩隆(三菱電機)

監 事：秋山秀典(熊本大)

同 　：河崎善一郎(大阪大)

B 部門

部 門 長：池田久利(東 芝)

副部門長：松村年郎(名古屋大)

同 : 栗原郁夫(電力中研)  
総務企画担当: 笹森健次(三菱電機)  
同 : 矢部邦明(東京電力)  
会計担当: 吉栖立格(日立製作所)  
同 : 鍋田和宏(中部電力)  
編修担当: 横山明彦(東京大)  
同 : 舟橋俊久(明電舎)  
研究経営担当: 美濃由明(関西電力)  
同 : 北 裕幸(北海道大)  
広報担当: 長岡直人(同志社大)  
監 事: 中西要祐(富士電機システムズ)  
同 : 渡辺和夫(ビスキヤス)

#### C 部門

部 門 長: 宮道壽一(宇都宮大)  
副部門長: 安田恵一郎(首都大)  
同 : 福本 亮(東 芝)  
総務企画担当: 駒田 聡(富士通フロンテック)  
同 : 長島芳行(中部電力)  
会計担当: 武田晴夫(日立製作所)  
同 : 井上純二(日本電気)  
編修担当: 大川剛直(神戸大)  
同 : 尾崎禎彦(三菱電機)  
研究経営担当: 藤村 茂(早稲田大)  
同 : 黒野正裕(電力中研)  
監 事: 神保泰彦(東京大)  
同 : 福山良和(富士電機アドバンストテクノロジー)

#### D 部門

部 門 長: 齋藤涼夫(東 芝)  
編 修 長: 深尾 正(東京工業大)  
副部門長: 林 洋一(青山学院大)  
同 : 玉井伸三(東芝三菱電機産業システム)  
総務企画担当: 山下隆司(NTT ファシリティーズ)  
同 : 河村篤男(横浜国立大)  
会計担当: 中村雅憲(東洋電機製造)  
同 : 古橋 武(名古屋大)  
編修広報担当: 久保田寿夫(明治大)  
同 : 小笠原悟司(宇都宮大)  
研究経営担当: 大崎博之(東京大)  
同 : 江口直也(富士電機アドバンストテクノロジー)  
監 事: 大西徳生(徳島大)  
同 : 北野淳一(東海旅客鉄道)

#### E 準部門

準部門長: 奥山雅則(大阪大)

副準部門長: 庄子習一(早稲田大)  
同 : 岩岡秀人(金沢工業大)  
総務企画担当: 日暮栄治(東京大)  
同 : 山下 馨(大阪大)  
会計担当: 佐藤善孝(新電元工業)  
同 : 鈴木博章(筑波大)  
編修担当: 中本高道(東京工業大)  
同 : 橋口 原(香川大)  
研究経営担当: 木股雅章(立命館大)  
同 : 栗山敏秀(日本電気)  
監 事: 安達 洋(室蘭工業大)  
同 : 堤 和彦(三菱電機)

#### ◎支部役員

##### 北海道支部

支 部 長: 吉川照一(北海道電力)  
総務企画幹事: 北 裕幸(北海道大)  
同 : 市川修一(北海道電力)  
会計幹事: 須田善行(北海道大)  
同 : 亀 文雄(北海道電力)  
協議員: 五十嵐一(北海道大)  
同 : 猪又祐一(王子製紙)  
小山 隆(北海道電力)  
白土雅浩(新日本製鐵)  
菅原宣義(北見工業大)  
岡本英治(北海道東海大)  
蘇武光夫(北海道旅客鉄道)  
内藤 督(室蘭工業大)  
三澤顕次(北海道工業大)  
柳谷俊一(函館工業高専)

##### 東北支部

支 部 長: 一ノ倉理(東北大)  
総務企画幹事: 秋山康人(東北電力)  
同 : 津田 理(東北大)  
会計幹事: 櫻庭政夫(東北大)  
同 : 記野秀一(東北電力)  
協議員: 遠藤哲郎(東北大)  
同 : △川又 憲(八戸工業大)  
黒河内正光(東日本旅客鉄道)  
坂田一壽(ユアテック)  
△佐藤 忠(秋田大)  
△東山禎夫(山形大)  
阿部俊三(東北工業大)  
△大平鷹一(日本大)  
呉 国紅(東北学院大)  
△高木浩一(岩手大)  
\*服部正行(仙台電波工業高専)

濱島高太郎(東北大)  
\*森下和夫(東北電力)  
矢萩保雄(東北電力)

##### 東京支部

支 部 長: 中村秋夫(東京電力)  
総務企画幹事: 馬淵祐一(日立情報制御ソリューションズ)  
同 : 武藤昭一(東京電力)  
会計幹事: 海老塚清(三菱電機)  
同 : 七原俊也(電力中研)  
協議員:  
同 : △泉 隆(日本大)

△小林正典(茨城大)  
△斉藤幸典(山梨大)  
△柴崎一郎(旭化成)  
島田 明(職業能力開発総合大)  
城宝直人(東京電力)  
鷹野一朗(工学院大)  
△高橋明遠(日本工業大)  
田中 明(明電舎)  
△長澤 武(宇都宮大)  
平尾裕司(鉄道総研)  
星野毅夫(新日本製鐵)  
△水谷芳史(東海大)  
森 啓之(明治大)  
安岡康一(東京工業大)  
松本義久(日本電気)  
吉村健司(電力中研)  
渡辺 清(日立電線)  
石山敦士(早稲田大)  
内田知伸(日立製作所)  
小野 亮(東京大)  
金森重晴(富士電機システムズ)  
小林雅一(電源開発)  
△近藤義臣(群馬大)  
榊 吉孝(東 芝)  
陶山健仁(東京電機大)  
△原田信弘(長岡技科大)  
\*藤本康孝(横浜国立大)  
藤原 昇(東京電力)  
渡辺和夫(ビスキヤス)  
渡邊政美(三菱電機)

##### 東海支部

支 部 長: 大熊 繁(名古屋大)  
総務企画幹事: 樋口一成(中部電力)  
同 : 道木慎二(名古屋大)

会計幹事：田畑彰守(名古屋大)  
同：小坂卓(名古屋工業大)  
協議員：浅野勝宏(豊田中研)  
同：伊藤公一(トーエネック)  
伊藤秀明(信州大)  
小野輝男(愛知電機)  
清水教之(名城大)  
杉島栄一(三菱電機)  
高木浩(中部電力)  
竹下隆晴(名古屋工業大)  
長尾雅行(豊橋技科大)  
花井孝明(鈴鹿工業高専)  
松本吉弘(富士電機機器制御)  
渡辺貞司(岐阜大)  
犬塚博(静岡大)  
内山剛(名古屋大)  
角紳一(中部大)  
中村修平(三重大)  
東山雅一(東芝)  
藤井治(日本ガイシ)  
藤網雅己(デンソー)

#### 北陸支部

支部長：岩原正吉(金沢大)  
総務企画幹事：上杉喜彦(金沢大)  
同：能登尚一(北陸電力)  
会計幹事：石丸雅章(北陸電力)  
新谷邦弘(福井工業高専)  
協議員：大路貴久(富山大)  
同：小原健司(金沢工業大)  
鷹野宗人(関西電力)  
直江伸至(金沢工業高専)  
松本和憲(富山県立大)  
見谷正男(北陸電力)  
荒木智勇(福井工業大)  
亀田悦正(富山工業高専)  
河合康典(石川工業高専)  
川崎章司(福井大)  
田中康規(金沢大)  
福光浩(北陸電力)

#### 関西支部

支部長：八木重典(三菱電機)  
総務企画幹事：廣瀬正幸(住友電工)  
同：羽馬洋之(三菱電機)  
会計幹事：井上馨(同志社大)  
同：吉川信明(関西電力)  
協議員：大西正規(関西大)  
同：貝原俊也(神戸大)  
神沢登志夫(ダイヘン)

熊野大司郎(西日本旅客鉄道)  
真田雅之(大阪府立大)  
斗内政吉(大阪大)  
西村荘治(日新電機)  
平田昌也(大阪府立工業高専)  
藤川歳幸(日立製作所)  
森望(関西電力)  
小串正樹(松下電器産業)  
小野田光宣(兵庫県立大)  
加瀬渡(大阪工業大)  
久保幸弘(立命館大)  
栗原勝志(山陽電気鉄道)  
澤田知行(松下電工)  
松尾哲司(京都大)  
山田雄一(住友電工)  
吉田実(近畿大)  
米澤毅(三菱電機)

#### 中国支部

支部長：奥村浩士(広島工業大)  
総務企画幹事：川原耕治(広島工業大)  
同：坂根千晴(中国電力)  
会計幹事：山根芳郎(中国電機製造)  
同：水津卓也(中国電力)  
協議員：香川直己(福山大)  
同：金錫範(岡山大)  
久保洋(山口大)  
矢部泰司(三井造船)  
泉照之(鳥根大)  
笠展幸(岡山理科大)  
造賀芳文(広島大)  
中川博喜(中国電機製造)  
中村宏(出光興産)  
西村亮(鳥取大)

#### 四国支部

支部長：大西徳生(徳島大)  
総務企画幹事：永田重幸(徳島文理大)  
同：安野卓(徳島大)  
会計幹事：坂田博(愛媛大)  
同：北條昌秀(徳島大)  
協議員：池守正(三菱電機)  
同：荻田耕三(四変テック)  
国松直斗(四国電力)  
竹田史章(高知工科大)  
服部哲郎(香川大)  
松内尚久(高知工業高専)

森田郁朗(徳島大)  
渡辺健二(愛媛大)  
石川公紀(住友共同電力)  
漆原史朗(高松工業高専)  
木谷勇(愛媛大)  
下村直行(徳島大)  
和田大志郎(四国総合研究所)

#### 九州支部

支部長：和田清(九州大)  
総務企画幹事：木須隆暢(九州大)  
同：白土竜一(九州工業大)  
会計幹事：霧和宏(九州電力)  
同：早田敦(九州電力)  
協議員：飯盛憲一(鹿児島大)  
同：濱本誠(大分大)  
樋口雅人(安川電機)  
本田親久(宮崎大)  
三谷康範(九州工業大)  
向井栄一(崇城大)  
孟志奇(福岡大)  
△伊野波盛守(沖縄電力)  
川端都紀生(新日本製鐵)  
黒川不二雄(長崎大)  
小林浩朗(東芝三菱電機産業システム)  
佐谷保幸(三菱重工業)  
西本昌彦(熊本大)  
\*野地英樹(都城工業高専)  
松山公秀(九州大)  
村松和弘(佐賀大)

#### (3) 評議員(54名)

平成18年度改選された方は、アンダーラインで示す。

本部：石井彰三(東京工業大)  
同：尾崎之孝(関電工)  
河合三千夫(東芝)  
川村隆(日立製作所)  
齊藤紀彦(関西電力)  
沢邦彦(富士電機ホールディングス)  
鈴木敏夫(三菱電機)  
鈴木俊男(電力中研)  
高橋一弘(電力中研)  
原島文雄(東京電機大)  
藤原靖隆(昭和電線電纜)  
百瀬信正(東京電力)  
A部門：荒井賢一(東北大)

渋谷義一(芝浦工業大)  
 松浦慶士(松浦電力技術研究所)  
 B 部門：岩田善輔(原子燃料工業)  
 奈良宏一(茨城大)  
 林 敏之(電力中研)  
 C 部門：大松 繁(大阪府立大)  
 坪井 昭(電力計算センター)  
 平田廣則(千葉大)  
 D 部門：小豆澤照男(神戸大)  
 大熊 繁(名古屋大)  
 四元勝一(NTT 建築総合研究所)  
 北海道支部：片平靖洋(北海道電力)  
 同：西谷健一(北海道工業大)  
 東北支部：郭 海蛟(東北学院大)  
 同：櫛引淳一(東北大)  
 東京支部：今城 尚久(電力テクノシステムズ)  
 尾崎康夫(東芝プラントシステム)  
 東海支部：井上堅治(神鋼電機)  
 同：依田正之(愛知工業大)  
 北陸支部：升方勝己(富山大)  
 同：松木純也(福井大)  
 関西支部：金田順一郎(三菱電機)  
 同：吉野勝美(先端科学イノベーションセンター)  
 中国支部：永田 武(広島工業大)  
 同：村瀬 暁(岡山大)  
 四国支部：井上 廉(徳島大)  
 同：鈴木雅士(四国電力)  
 九州支部：大戸基道(安川電機)  
 二宮 保(九州大)  
 事業維持員：河津譽四男(中部電力)  
 黒川通豊(古河電工)  
 佐藤秀一(三菱電機)  
 瀬古茂男(明電舎)  
 竹中章二(東 芝)  
 畑 良輔(住友電工)  
 林 喬(東京電力)  
 原嶋孝一(富士電機ホールディングス)  
 樋口隆啓(九州電力)  
 森下和夫(東北電力)  
 八木 誠(関西電力)  
 八坂保弘(日立製作所)

北海道支部：菅原広剛(北海道大)  
 東北支部：秋山康人(東北電力)  
 同：佐藤文博(東北大)  
 東京支部：雨宮尚之(横浜国立大)  
 同：大崎博之(東京大)  
 太田伸一(三菱電機)  
 尾鷲正幸(エクシム)  
 金澤康久(富士電機システムズ)  
 熊野照久(明治大)  
 小林正和(早稲田大)  
 小林 幹(工学院大)  
 斎藤英雄(慶應義塾大)  
 榊原高明(東 芝)  
 清水政利(鉄道総研)  
 定梶 潤(東京電力)  
 田生宏禎(電源開発)  
 高橋宏治(東京工業大)  
 田中哲司(明電舎)  
 田中照夫(東京電機大)  
 中嶋研治(日立電線)  
 星野毅夫(新日本製鐵)  
 細井智行(日本 AE パワーシステムズ)  
 八島政史(電力中研)  
 渡辺雅浩(日立製作所)  
 東海支部：窪野隆能(静岡大)  
 同：高井吉明(名古屋大)  
 同：田中裕章(デンソー)  
 同：藤田光悦(富士電機機器制御)  
 同：堀出昭彦(中部電力)  
 同：松井景樹(中部大)  
 北陸支部：鮎井賢治(富山大)  
 関西支部：市村安男(松下電工)  
 同：木村紀之(大阪工業大)  
 同：木本恒暢(京都大)  
 同：小矢美晴(立命館大)  
 同：近藤康宏(松下電器産業)  
 同：山脇重信(近畿大)  
 中国支部：歌谷昌弘(広島国際学院大)  
 同：日高良和(宇部工業高専)  
 四国支部：門脇一則(愛媛大)  
 九州支部：小浜輝彦(福岡大)  
 同：田邊 隆(三菱重工業)  
 同：横田光広(宮崎大)

### 3. 表彰

平成 18 年 5 月 23 日の第 94 回通常総会において、次に名誉員、功績賞・業績賞・電気学術振興賞・優秀技術活動賞受賞者に賞状・賞牌等を贈呈。

名誉員

沢 邦彦 (富士電機  
ホールディングス)

第 44 回功績賞

川村 隆 (日立製作所)

第 15 回業績賞

雨谷昭弘 (同志社大学)

同 石原 宏 (東京工業大学)

同 森安正司 (関東学院大学)

同 江刺正喜 (東北大学)

第 62 回電気学術振興賞

進歩賞

安藤政人 (東日本旅客鉄道)

加藤敬義 (鉄道建設・  
運輸施設整備支援機構)

兎東哲夫 (鉄道総合技術研究所)

同 市川路晴 (電力中央研究所)

向山晋一 (古河電気工業)

安田健次 (Super-GM)

同 松田勝弘 (東北電力)

和田 勝 (東北電力)

古川俊行 (日立製作所)

同 矢澤 孝 (東芝)

酒井正弘 (東芝)

徳永義孝 (東京電力)

同 米沢比呂志 (関西電力)

寺本仁志 (三菱電機)

船橋眞男 (東芝三菱電機  
産業システム)

同 平松綾子 (大阪産業大学)

薦田憲久 (大阪大学)

大磯洋明 (コーデトーズ)

同 瀬尾和男 (三菱電機)

玉田隆史 (三菱電機)

西田正吾 (大阪大学)

同 幡野 浩 (東芝)

関戸 忍 (東芝アイテック)

山田利光 (東芝)

論文賞

今井隆浩 (東芝)

澤 史雄 (東芝)

尾崎多文 (東芝)

中野俊之 (東芝)

(4) 2号代議員(43名)

- 清水敏夫 (東芝)
- 吉満哲夫 (東芝)
- 同 熊澤孝夫 (中部電力)
- 中川 渡 (電線総合技術センター)
- 鶴丸秀一 (タツタ電線)
- 同 窪田善之 (関西電力)
- 元治 崇 (関西電力)
- 同 篠田明秀 (中部電力)
- 岡田英幸 (中部電力)
- 伊藤 進 (日本ガイシ)
- 鈴木良博 (日本ガイシ)
- 内藤克彦 (名城大学)
- 同 七原俊也 (電力中央研究所)
- 山下光司 (電力中央研究所)
- 伊良皆淳 (沖縄電力)
- 安里貞夫 (沖電設計)
- 同 北村聖一 (三菱電機)
- 森 一之 (三菱電機)
- 進藤静一 (三菱電機)
- 泉井良夫 (三菱電機)
- 同 堺 和人 (東芝)
- 高橋則雄 (東芝)
- 霜村英二 (東芝)
- 新 政憲 (東芝)
- 中沢洋介 (東芝)
- 田島敏伸 (東芝)
- 同 高田博史 (住友電工)
- フラットコンポーネント)
- 羽賀 剛 (住友電気工業)
- 平田嘉裕 (住友電気工業)

著作賞

「超電導発電機」

- 上之蘭博 (電力中央研究所)
- 谷口治人 (電力中央研究所)
- 田里 誠 (国立科学博物館)
- 渋谷正豊 (神奈川大学)

第9回優秀技術活動賞

技術報告賞

- ・プラズマを用いた素材の表面改質技術
- プラズマを媒体とする素材表面改質処理プロセス技術調査専門委員会
- 代表者 菅原 實 (群馬大学)
- ・高速高密度光磁気記録とその応用
- 高速高密度光磁気記録調査専門委員会
- 代表者 金子正彦 (ソニー)
- ・架空送電線の電線腐食現象
- 架空送電線の電線劣化 (腐食)現象

調査専門委員会

- 代表者 磯崎正則 (東京電力)
- ・超電導電力応用機器の最新実用化技術動向
- 超電導応用機器実用化動向調査専門委員会
- 代表者 堀上 徹 (超電導工学研究所)
- ・負荷供給系統保護リレーシステムの現状とその動向
- 負荷供給系統保護リレーシステムの現状とその動向調査専門委員会
- 代表者 吉野美明 (九州電力)
- ・分散型電源有効活用のための電力系統技術
- 分散型電源有効活用のための電力系統技術調査専門委員会
- 代表者 横山隆一 (首都大学東京)
- ・次世代パワーデバイス開発に向けて

の取り組むべき重要課題

- パワーデバイス高性能化・高機能化技術調査専門委員会
- 代表者 関 康和 (富士電機)
- アドバンステクノロジー)
- ・高速道路の高度交通管制システム
- 高速道路の高度交通管制システムに関する調査専門委員会
- 代表者 泉 隆 (日本大学)
- 特別賞
- ・「産業用リニアドライブ国際シンポジウム LDIA の継続的開催と国際活動への貢献」
- リニアドライブ技術委員会
- 代表者 小豆澤照男 (神戸大学)
- グループ著作賞
- ・「自動車電源の42V化技術」
- 42V電源化調査専門委員会
- 代表者 寺谷達夫 (トヨタ自動車)

4. 支部活動

| 項目           | 支部 | 北海道 | 東北 | 東京 | 東海 | 北陸 | 関西 | 中国 | 四国 | 九州 | 計   |
|--------------|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 連合大会・支部研究会関係 |    | 1   | 2  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 2  | 11  |
| 講演会関係        |    | 13  | 25 | 30 | 10 | 12 | 20 | 13 | 10 | 24 | 157 |
| 講習会関係        |    | 1   | 1  | 13 | 2  | 1  | 5  | 3  | 1  | 8  | 35  |
| 見学会関係        |    | 5   | 1  | 28 | 6  | 1  | 3  | 1  | 3  | 2  | 50  |
| 発表会関係        |    |     |    | 6  |    | 2  | 1  |    | 2  |    | 11  |
| その他          |    |     | 2  | 6  | 27 | 3  |    |    |    | 1  | 39  |
| 計            |    | 20  | 31 | 84 | 46 | 20 | 30 | 18 | 17 | 37 | 303 |

5. 会合数

|                        |   |
|------------------------|---|
| 通常総会                   | 1 |
| 評議員会                   | 1 |
| 理事会                    | 6 |
| 経営戦略会議                 | 4 |
| 学会役員制度に関する検討WG         | 3 |
| 繰越金・資産の活用検討WG          | 3 |
| 総務会議                   | 5 |
| 会員サービス改善および部門共通規定見直しWG | 4 |
| 支部事業関係懸案事項検討WG         |   |
| (部門)役員制度適正化検討WG        | 3 |
| 会計会議                   | 7 |
| (うちメール審議1)             |   |
| 編修会議                   | 5 |
| 研究経営会議                 | 5 |
| 企画委員会                  | 4 |
| 元会長会                   | 1 |

|                  |    |
|------------------|----|
| 表彰委員会            | 3  |
| 進歩賞小委員会          | 1  |
| (メール審議)          |    |
| 論文・著作賞小委員会       | 1  |
| (メール審議)          |    |
| ホームページ運用委員会      | 3  |
| (メール審議)          |    |
| 広告委員会            | 1  |
| 編修委員会(部会などを含む)   | 32 |
| 出版事業委員会          | 4  |
| 技術啓発書部会          | 4  |
| 教科書・専門書部会        | 4  |
| 全国大会委員会          | 3  |
| 〃幹事会             | 2  |
| 電磁界生体影響問題調査特別委員会 | 2  |
| 〃拡大幹事会           | 2  |
| 技術者倫理検討委員会       | 2  |
| 現況調査WG           | 5  |
| 技術者教育委員会         | 3  |

|                           |     |
|---------------------------|-----|
| JABEE 審査実行部会              | 7   |
| JABEE 普及支援部会              | 7   |
| 継続教育実行部会(TF)              | 5   |
| IEEJ Professional 制度検討 WG | 6   |
| 国際活動委員会                   | 4   |
| A 部門 役員会                  | 4   |
| B 部門 役員会                  | 5   |
| C 部門 役員会                  | 5   |
| D 部門 役員会                  | 5   |
| E 準 部門 役員会                | 4   |
| A 部門 編修委員会                | 6   |
| B 部門 編修委員会                | 6   |
| C 部門 編修委員会                | 12  |
| D 部門 編修委員会                | 4   |
| E 準 部門 編修委員会              | 6   |
| 論文委員会                     | 12  |
| 研究調査運営委員会                 |     |
| A 部門                      | 4   |
| B 部門                      | 4   |
| C 部門                      | 5   |
| D 部門                      | 4   |
| 技術委員会                     |     |
| A 部門                      | 47  |
| B 部門                      | 40  |
| C 部門                      | 35  |
| D 部門                      | 52  |
| E 準 部門                    | 11  |
| 専門委員会                     |     |
| A 部門                      | 175 |
| B 部門                      | 165 |
| C 部門                      | 157 |
| D 部門                      | 244 |
| E 準 部門                    | 27  |
| 研究会                       |     |
| A 部門                      | 59  |
| B 部門                      | 31  |
| C 部門                      | 35  |
| D 部門                      | 49  |
| E 準 部門                    | 12  |

合計 1,373 回

電気規格調査会の会合数は P.16 に別掲

## 6. 学会誌・論文誌 (部門誌)

### (1) 学会誌

学会誌の総ページ数は 1,002 ページで、前年度より 40 ページの減少であった。また、発行部数は 295,490 部で前年度より 8,660 部の減少であった。

| 巻・号    | 発行年月日     | 本文    | 広告    |
|--------|-----------|-------|-------|
| 125・4  | H17. 3.22 | 65.5  | 12.5  |
| 125・5  | H17. 4.20 | 65    | 17    |
| 125・6  | H17. 5.20 | 62    | 14    |
| 125・7  | H17. 6.20 | 92    | 16    |
| 125・8  | H17. 7.20 | 72    | 16    |
| 125・9  | H17. 8.22 | 65    | 19    |
| 125・10 | H17. 9.20 | 69.5  | 14.5  |
| 125・11 | H17.10.20 | 65.5  | 18.5  |
| 125・12 | H17.11.21 | 65    | 13    |
| 126・1  | H17.12.20 | 60.5  | 21.5  |
| 126・2  | H18. 1.20 | 69.5  | 14.5  |
| 126・3  | H18. 2.20 | 61    | 13    |
| 合計ページ数 |           | 812.5 | 189.5 |

注：平成 18 年 3 月 20 日に Vol. 126, No. 4 を発行したが、これは平成 18 年度分として取り扱った。

### ・学会誌の内容とページ数

| 内 容        | 16 年度 | 17 年度 |
|------------|-------|-------|
| 巻頭・随想・論説   | 11    | 11    |
| 講演         | 5     | 4     |
| 特集         | 212   | 216   |
| 解説         | 44    | 44    |
| 座談会・討論会    | 0     | 0     |
| 取材         | 40    | 44    |
| インタビュー     | 5     | 0     |
| 技術探索       | 32    | 41    |
| 学生のページ     | 44    | 44    |
| 技術レポート     | 19.5  | 20.5  |
| 編集後記       | 6     | 6     |
| 支部のページ     | 24    | 24    |
| 会員の声 (寄書)  | 0.5   | 0     |
| 学会だより      | 42.5  | 46.5  |
| 規格調査会だより   | 1     | 4     |
| 論文誌目次      | 36    | 35    |
| その他        | 25.5  | 26    |
| 表紙         | 12    | 12    |
| 目次・会告      | 193.5 | 192.5 |
| 特別号 (大特集号) | 42    | 42    |
| 連載記事       | 33    | 0     |
| 小 計        | 828.5 | 812.5 |
| 広告         | 213.5 | 189.5 |
| 合 計        | 1,042 | 1,002 |

### (2) 論文誌 (部門誌)

平成 16 年 4 月から全論文誌の電子ジャーナル版を科学技術振興機構の J-Stage 上で無料一般公開している (J-Stage への掲載は論文誌発行の 3 か月後)。

なお、論文誌 (部門誌) の総ページ数は 6,639 ページで、前年度より 339 ページの減少であった。

| 部門誌名      | 巻・号   | 発行年月日    | 本文  | 広告 |
|-----------|-------|----------|-----|----|
| 4 月号論文誌 A | 125・4 | H17.3.22 | 124 | 0  |
| 論文誌 B     | 125・4 | H17.3.22 | 120 | 0  |
| 論文誌 C     | 125・4 | H17.3.22 | 144 | 0  |
| 論文誌 D     | 125・4 | H17.3.22 | 128 | 0  |
| 論文誌 E     | 125・4 | H17.3.22 | 56  | 2  |
| 5 月号論文誌 A | 125・5 | H17.4.20 | 102 | 0  |
| 論文誌 B     | 125・5 | H17.4.20 | 110 | 0  |
| 論文誌 C     | 125・5 | H17.4.20 | 156 | 0  |
| 論文誌 D     | 125・5 | H17.4.20 | 132 | 0  |
| 論文誌 E     | 125・5 | H17.4.20 | 37  | 3  |
| 6 月号論文誌 A | 125・6 | H17.5.20 | 92  | 0  |

|            |        |           |       |    |
|------------|--------|-----------|-------|----|
| 論文誌 B      | 125・6  | H17.5.20  | 80    | 0  |
| 論文誌 C      | 125・6  | H17.5.20  | 172   | 0  |
| 論文誌 D      | 125・6  | H17.5.20  | 160   | 0  |
| 論文誌 E      | 125・6  | H17.5.20  | 50    | 3  |
| 7 月号論文誌 A  | 125・7  | H17.6.20  | 44    | 0  |
| 論文誌 B      | 125・7  | H17.6.20  | 116   | 0  |
| 論文誌 C      | 125・7  | H17.6.20  | 178   | 0  |
| 論文誌 D      | 125・7  | H17.6.20  | 110   | 0  |
| 論文誌 E      | 125・7  | H17.6.20  | 45    | 3  |
| 8 月号論文誌 A  | 125・8  | H17.7.20  | 116   | 0  |
| 論文誌 B      | 125・8  | H17.7.20  | 92    | 0  |
| 論文誌 C      | 125・8  | H17.7.20  | 220   | 0  |
| 論文誌 D      | 125・8  | H17.7.20  | 82    | 0  |
| 論文誌 E      | 125・8  | H17.7.20  | 42    | 2  |
| 9 月号論文誌 A  | 125・9  | H17.8.22  | 38    | 0  |
| 論文誌 B      | 125・9  | H17.8.22  | 96    | 0  |
| 論文誌 C      | 125・9  | H17.8.22  | 140   | 0  |
| 論文誌 D      | 125・9  | H17.8.22  | 68    | 0  |
| 論文誌 E      | 125・9  | H17.8.22  | 37    | 3  |
| 10 月号論文誌 A | 125・10 | H17.9.20  | 116   | 0  |
| 論文誌 B      | 125・10 | H17.9.20  | 108   | 0  |
| 論文誌 C      | 125・10 | H17.9.20  | 134   | 0  |
| 論文誌 D      | 125・10 | H17.9.20  | 84    | 0  |
| 論文誌 E      | 125・10 | H17.9.20  | 38    | 2  |
| 11 月号論文誌 A | 125・11 | H17.10.20 | 118   | 0  |
| 論文誌 B      | 125・11 | H17.10.20 | 92    | 0  |
| 論文誌 C      | 125・11 | H17.10.20 | 158   | 0  |
| 論文誌 D      | 125・11 | H17.10.20 | 132   | 0  |
| 論文誌 E      | 125・11 | H17.10.20 | 27    | 3  |
| 12 月号論文誌 A | 125・12 | H17.11.21 | 114   | 0  |
| 論文誌 B      | 125・12 | H17.11.21 | 278   | 0  |
| 論文誌 C      | 125・12 | H17.11.21 | 146   | 0  |
| 論文誌 D      | 125・12 | H17.11.21 | 112   | 0  |
| 論文誌 E      | 125・12 | H17.11.21 | 40    | 2  |
| 1 月号論文誌 A  | 126・1  | H17.12.20 | 72    | 0  |
| 論文誌 B      | 126・1  | H17.12.20 | 150   | 0  |
| 論文誌 C      | 126・1  | H17.12.20 | 170   | 0  |
| 論文誌 D      | 126・1  | H17.12.20 | 122   | 0  |
| 論文誌 E      | 126・1  | H17.12.20 | 37    | 3  |
| 2 月号論文誌 A  | 126・2  | H18.1.20  | 42    | 0  |
| 論文誌 B      | 126・2  | H18.1.20  | 178   | 0  |
| 論文誌 C      | 126・2  | H18.1.20  | 178   | 0  |
| 論文誌 D      | 126・2  | H18.1.20  | 148   | 0  |
| 論文誌 E      | 126・2  | H18.1.20  | 62    | 2  |
| 3 月号論文誌 A  | 126・3  | H18.2.20  | 140   | 0  |
| 論文誌 B      | 126・3  | H18.2.20  | 138   | 0  |
| 論文誌 C      | 126・3  | H18.2.20  | 132   | 0  |
| 論文誌 D      | 126・3  | H18.2.20  | 196   | 0  |
| 論文誌 E      | 126・3  | H18.2.20  | 58    | 4  |
| 合 計        |        |           | 6,607 | 32 |

※：「本文ページ数」は、表紙、解説、部門記事などを含む。

平成 18 年 3 月 20 日に各論文誌の Vol. 126, No. 4 を発行したが、これは平成 18 年度分として扱った。

### ・論文誌の内容とページ数

| 内容    | 論文・研究開発レター | 解説・部門記事 | その他 | 広告 | 合計    | 発行部数    |
|-------|------------|---------|-----|----|-------|---------|
| 論文誌 A | 902        | 119     | 97  | 0  | 1,118 | 53,550  |
| 論文誌 B | 1,230      | 191     | 137 | 0  | 1,558 | 118,030 |
| 論文誌 C | 1,664      | 135     | 129 | 0  | 1,928 | 68,185  |
| 論文誌 D | 1,205      | 133     | 136 | 0  | 1,474 | 80,705  |
| 論文誌 E | 360        | 98      | 71  | 32 | 561   | 25,420  |
| 合 計   | 5,361      | 676     | 570 | 32 | 6,639 | 345,805 |

注：「その他」は、表紙、Extended Summary などである。



## 7. 出版

### (1) 教科書の発行

合計 35 点, 68,400 部

#### ① 新刊: 5 点, 13,000 部

| No. | 書名  | 著者名     | 発行日      | 発行部数   |
|-----|---|---------|----------|--------|
| 1   | 基礎からわかる電磁気学<br>例題演習 I<br>—電磁気学の物理的概念<br>—電流と抵抗— | 山口昌一郎   | H18.2.20 | 2,600  |
| 2   | 基礎からわかる電磁気学<br>例題演習 II<br>—磁界—電磁波—              | 山口昌一郎   | H18.2.20 | 2,600  |
| 3   | 電気施設管理と電気法規<br>解説 11 版改訂                        | 冨田弘平, 他 | H18.2.20 | 2,600  |
| 4   | 電気電子材料<br>—基礎から試験法まで—                           | 大木義路, 他 | H18.3.20 | 2,600  |
| 5   | 基礎からの技術者倫理—<br>わざを生かす眼と心—                       | 松本純也    | H18.3.20 | 2,600  |
|     | 計   |         |          | 13,000 |

#### ② 重版: 29 点, 54,900 部

| No. | 書名              | 発行日       | 発行部数   |
|-----|-----------------|-----------|--------|
| 1   | パワーエレクトロニクスの基礎  | H17. 4. 5 | 500    |
| 2   | 高電圧工学 (3 版改訂)   | H17. 4. 5 | 800    |
| 3   | 電気磁気学演習         | H17. 8.31 | 700    |
| 4   | 電機設計概論 (3 次改)   | H17. 8.31 | 1,000  |
| 5   | 送電工学 (改訂版)      | H17. 8.31 | 500    |
| 6   | 電気応用 (改訂版)      | H17. 8.31 | 1,000  |
| 7   | 回路理論基礎          | H17. 8.31 | 4,000  |
| 8   | 電気磁気学基礎論        | H17. 8.31 | 1,000  |
| 9   | エネルギー基礎論        | H17. 8.31 | 500    |
| 10  | 電気磁気学 (3 版改訂)   | H17. 8.31 | 7,000  |
| 11  | 電力系統工学          | H17. 8.31 | 1,500  |
| 12  | 送配電工学 (改訂版)     | H17. 8.31 | 2,000  |
| 13  | パワースイッチング工学     | H17. 9. 5 | 2,000  |
| 14  | 電気計測基礎          | H18. 1.10 | 500    |
| 15  | 遊んで学ぼう電気の自由研究   | H18.12. 5 | 1,000  |
| 16  | 電気・電子基礎数学       | H18. 2. 1 | 1,300  |
| 17  | 電気機械工学 (改)      | H18. 2. 1 | 2,000  |
| 18  | 電子物性基礎          | H18. 2. 1 | 2,000  |
| 19  | 発電・変電 (改訂版)     | H18. 2. 1 | 4,000  |
| 20  | 送電・配電 (改訂版)     | H18. 2. 1 | 2,300  |
| 21  | 基礎電磁気学 (改訂版)    | H18. 2. 1 | 4,200  |
| 22  | 基礎からの交流理論       | H18. 2. 1 | 2,400  |
| 23  | 電気回路論 (2 版改訂)   | H18. 2. 1 | 7,000  |
| 24  | 電気機器工学 I (改訂版)  | H18. 2.15 | 1,500  |
| 25  | 電気実験 (電気機器・電力編) | H18. 2.15 | 500    |
| 26  | 発電工学 (改訂版)      | H18. 2.15 | 500    |
| 27  | 基礎電気機器学         | H18. 2.15 | 1,500  |
| 28  | 電気電子材料工学        | H18. 2.15 | 700    |
| 29  | 高電圧工学 (3 版改訂)   | H18. 2.15 | 1,000  |
|     | 計               |           | 54,900 |

#### (2) 教科書新シリーズ共同出版 EE

Text の発行

新刊: 2 点, 4,000 部

| No. | 書名          | 発行日    | 発行部数  |
|-----|-------------|--------|-------|
| 1   | センサ・マイクロマシン | H17.10 | 2,000 |
| 2   | システム最適化     | H17.11 | 2,000 |

#### (3) 技術報告の発行

① 新刊: 42 点, 18,600 部

A 部門: 10 点, 4,300 部

| No. | 号数   | 書名   | 発行日       | 発行部数  |
|-----|------|--|-----------|-------|
| 1   | 1011 | 次世代高性能磁石と応用—<br>次世代高性能磁石の不完全<br>着磁状態での経時変化評価<br>とその応用に関する調査— | H17. 4. 5 | 400   |
| 2   | 1013 | 新しい光源・計測   | H17. 5.20 | 400   |
| 3   | 1016 | 超電導線材の線材化・導体<br>化技術  | H17. 5.25 | 400   |
| 4   | 1018 | パルス電磁エネルギーの発<br>生・応用の最新技術動向                                  | H17. 5.30 | 400   |
| 5   | 1019 | 超微細リソグラフィ技術の<br>開発動向   | H17. 6.15 | 400   |
| 6   | 1021 | 高速高密度光磁気記録とそ<br>の応用  | H17. 6.15 | 400   |
| 7   | 1045 | プリント配線板の絶縁劣化<br>および耐サージ性                                     | H18. 2.10 | 400   |
| 8   | 1047 | 電磁界の生体効果と生物医<br>学的应用   | H18. 3.10 | 400   |
| 9   | 1050 | ナノスケール磁性構造体調<br>査専門委員会技術報告                                   | H18. 3.15 | 400   |
| 10  | 1051 | ポリマーナノコンポジット<br>材料の誘電・絶縁技術応用                                 | H18. 3.20 | 700   |
|     |      | 計  |           | 4,300 |

#### B 部門: 14 点, 6,600 部

| No. | 号数   | 書名  | 発行日       | 発行部数  |
|-----|------|---|-----------|-------|
| 1   | 1022 | 水車の劣化診断方法と対策<br>に関する調査                    | H17. 6.15 | 500   |
| 2   | 1023 | 変圧器の環境適合性向上技<br>術の現状とその動向                 | H17. 6.20 | 400   |
| 3   | 1025 | 分散型電源有効活用のため<br>の電力系統技術                   | H17. 6.30 | 600   |
| 4   | 1027 | 新電力機器を含む電力系統<br>の過渡現象とその解析手法              | H17. 6.30 | 400   |
| 5   | 1028 | クリーン・高効率 MHD 発<br>電技術                     | H17. 7.20 | 400   |
| 6   | 1031 | 直流配電網のフィージビリ<br>ティ                        | H17. 8.30 | 400   |
| 7   | 1033 | 電力設備のための雷パラメ<br>ータの選定法                    | H17. 9.15 | 400   |
| 8   | 1035 | 燃料電池発電システム適用<br>性評価—民生用・業務用シ<br>ステムの現状と課題 | H17.10. 5 | 400   |
| 9   | 1036 | 次世代中電圧スイッチギヤ<br>の技術                       | H17.10. 5 | 400   |
| 10  | 1037 | 各種汚損環境へのがいしの<br>適用と評価方法                   | H17.11. 1 | 400   |
| 11  | 1038 | 競争環境下の新しい系統運<br>用技術                       | H17.11.10 | 1,000 |
| 12  | 1041 | 変電設備保全への IT 適用<br>に関する調査報告                | H17.12.20 | 400   |
| 13  | 1042 | 高効率熱電変換材料の現状<br>と展望                       | H18. 2.15 | 400   |
| 14  | 1043 | 電磁界解析における高速大<br>規模数値計算技術                  | H18. 1. 5 | 500   |
|     |      | 計   |           | 6,600 |

#### C 部門: 4 点, 1,600 部

| No. | 号数   | 書名   | 発行日       | 発行部数  |
|-----|------|--|-----------|-------|
| 1   | 1012 | 企業情報システムにおける<br>連携技術   | H17. 4. 5 | 400   |
| 2   | 1032 | リコンフィギャラブル機能<br>LSI の最新動向  | H17. 8.30 | 400   |
| 3   | 1039 | ブロードバンド時代のネッ<br>トワーク運用管理   | H17.12.20 | 400   |
| 4   | 1046 | 超高速回路: デバイス技術<br>の現状と今後の展開—高速<br>デバイスおよびその要素回<br>路や応用システム等の関連<br>技術に関する調査— | H18. 2.10 | 400   |
|     |      | 計  |           | 1,600 |

#### D 部門: 14 点, 6,100 部

| No. | 号数   | 書名   | 発行日       | 発行部数  |
|-----|------|--|-----------|-------|
| 1   | 1010 | IT 社会における分散エネ<br>ルギーシステムの技術動向<br>と将来展望     | H17. 4. 5 | 400   |
| 2   | 1014 | 建材一体型太陽光発電モジ<br>ュール技術                      | H17. 5.10 | 400   |
| 3   | 1015 | 公共施設における広域統合<br>化技術の現状と展望                  | H17. 5.10 | 400   |
| 4   | 1017 | 磁気支持応用機器における<br>開発現状とそのダイナミク<br>ス          | H17. 5.30 | 400   |
| 5   | 1020 | リラクタンストルク応用電<br>動機の要素技術と高性能化<br>動向         | H17. 6.15 | 400   |
| 6   | 1024 | 産業用リニアモータの特性<br>測定法と評価方法                   | H17. 6.20 | 400   |
| 7   | 1026 | システム多機能化のための<br>計測・センサ最新技術 (CD<br>—ROM 付き) | H17. 7. 5 | 400   |
| 8   | 1029 | 多次元ドライブシステムの<br>可能性を探る                     | H17. 7.25 | 500   |
| 9   | 1030 | モバイル通信の公共交通サ<br>ービスへの応用システム                | H17. 8.15 | 400   |
| 10  | 1034 | 永久磁石電動機, リラクタ<br>ンスモータの駆動回路技術<br>と制御技術     | H17.10.25 | 400   |
| 11  | 1040 | 産業化が進む医用電磁駆動<br>システム                       | H17.12.20 | 400   |
| 12  | 1044 | 回転機の電磁界解析高精度<br>モデリング技術                    | H18. 2. 1 | 400   |
| 13  | 1048 | 誘導電動機の電磁振動と騒<br>音の解析技術                     | H18. 3.10 | 400   |
| 14  | 1049 | 自動車用次世代電源システ<br>ムのロードマップ                   | H18. 3.10 | 800   |
|     |      | 計  |           | 6,100 |

#### ② 重版: 3 点, 650 部

本部: 1 点, 100 部

| No. | 号数  | 書名                 | 発行日        | 刷数  | 発行部数 |
|-----|-----|--------------------|------------|-----|------|
| 1   | 831 | 工場電気設備の診<br>断・更新技術 | 2005/11/25 | 2 刷 | 100  |
|     |     | 計                  |            |     | 100  |

#### B 部門: 2 点, 550 部

| No. | 号数   | 書名                                     | 発行日                    | 刷数         | 発行部数 |
|-----|------|--|------------------------|------------|------|
| 1   | 1022 | 水車の劣化診断方<br>法と対策に関する<br>調査専門委員会        | H17. 8.10              | 2 刷        | 300  |
| 2   | 1025 | 分散型電源有効活<br>用のための電力系<br>統技術調査専門委<br>員会 | H17. 9.20<br>H17.11. 1 | 2 刷<br>3 刷 | 250  |
|     |      | 計                                      |                        |            | 550  |

#### (4) 技術報告単行本 (委託出版) の発行

新刊: 3 点, 3,800 部

| No. | 部門 | 書名                 | 発行日       | 発行部数  | 出版社  |
|-----|----|--------------------|-----------|-------|------|
| 1   | D  | ITS 道路交通セン<br>シング  | H17. 5.25 | 1,500 | オーム社 |
| 2   | D  | ウェーブレット<br>解析の産業応用 | H17. 9.30 | 800   | 朝倉書店 |
| 3   | A  | プラズマイオン<br>とその応用   | H17.10.20 | 1,500 | オーム社 |
|     |    | 計                  |           | 3,800 |      |

#### (5) 電気専門用語集 (委託出版) の発行

新刊：1点，500部

| No. | 書名   | 発行年      | 発行部数 |
|-----|------|----------|------|
| 1   | ヒューズ | H17.5.13 | 500  |

(6) 電気規格調査会標準規格（委託出版）の発行

新刊：5点，4,900部

| No. | JEC No.     | 制定・改訂年  | 規格名              | 発行部数  |
|-----|-------------|---------|------------------|-------|
| 1   | JEC-2470    | 2005 制定 | 分散形電源系統連系用電力変換装置 | 1,200 |
| 2   | JEC-0103    | 2005 改訂 | 低圧制御回路試験電圧標準     | 1,000 |
| 3   | JEC-2350    | 2005 改訂 | ガス絶縁開閉装置         | 1,200 |
| 4   | JEC-TR21001 | 2005 制定 | 永久磁石同期機の特定制定法    | 300   |
| 5   | JEC-2440    | 2005 改訂 | 懸重がいしおよび耐塩用懸重がいし | 1,200 |
| 計   |             |         |                  | 4,900 |

8. 国際活動

(1) 国際会議開催実績一覧表

平成17年度に電気学会主催で開催した国際会議は以下の通りである。

| 国際会議名   | 開催場所・期間  | 開催概要  |
|---|--|---|
| IPEEC-Niigata 2005 (International Power Electronics Conference)                           | 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター (新潟) 2005.4.4~4.8             | 論文件数：315件 (内、海外から111件) 大会参加者数：552名 (内、海外から134名) |
| International Conference on Electrical Engineering 2005 (ICEE 2005) (日本、韓国、中国、香港の各学会との共催) | Green Lake Hotel (中国・昆明) 2005.7.10~7.14          | 論文件数：427件 (内、日本から101件) 大会参加者数：449名 (内、日本から115名) |
| 27th International Symposium on Dry Process (DPS2005)                                     | Ramada Plaza Jeju Hotel (韓国済州島) 2005.11.28~11.30 | 論文件数：188件 (内、日本から68件) 大会参加者数：339名 (内、日本から135)   |

(2) 助成

国際交流基金および桜井基金を原資とする国際交流活動に対する助成を次のとおり行った。

①外国研究者の招聘助成

| 年度   | 招聘者  | 会合名   | 開催地 | 助成額 (千円) |
|------|--|---|-----|----------|
| H17上 | Christian Laurent (Paul Sabatier Univ.) (France) | 高機能システムの電力系統への応用に関する会議 (2005.6.5~6.9)           | 北九州 | 200      |
| H17下 | Chang-Jin Kim (UCLA) (America)                   | 第22回センサ・マイクロマシンと応用システムシンポジウム (2005.10.20~10.21) | 東京  | 150      |

②国際会議への出席助成

| 年度   | 出席者          | 会合名   | 開催国 | 助成額 (千円) |
|------|--------------|---|-----|----------|
| H17上 | 青木 良文 (東京大学) | The 21st Worldwide International Battery, Hybrid and Fuel Cell Electric Vehicle Symposium & Exhibition (EVS21) (2005.4.2~4.6) | モナコ | 150      |

| 年度   | 氏名             | 会議名  | 開催国  | 助成額 (千円) |
|------|----------------|--|------|----------|
| H17上 | 岩尾 徹 (武蔵工業大学)  | 17th International Symposium on Plasma Chemistry (2005.8.7~8.12)             | カナダ  | 150      |
| H17上 | 大屋 正義 (京都大学)   | The International Conference on Electrical Engineering 2005 (2005.7.10~7.14) | 中国   | 100      |
| H17上 | 坂元 良成 (琉球大学)   | The IEEE Power Engineering Society 2005 General Meeting (2005.6.12~6.16)     | アメリカ | 150      |
| H17下 | 光野 正志 (群馬大学)   | 2005 IEEE International Analog VLSI Workshop (2005.10.19~10.21)              | フランス | 200      |
| H17下 | 近藤 義泰 (熊本大学)   | 4th International Extreme Ultraviolet Lithography Symposium (2005.11.7~11.9) | アメリカ | 150      |
| H17下 | 松原 正芳 (芝浦工業大学) | Intelligent Systems Application to Power Systems (ISAP) (2005.11.6~11.10)    | アメリカ | 150      |

③桜井基金による海外派遣

| 年度  | 該当なし | 助成額 (千円) |
|-----|------|----------|
| H17 |      |          |

9. 学術振興助成

学術振興基金を原資とする学術振興活動に対する助成を次の通り行った。

(1) 平成17年大会ならびに研究会における優秀論文発表の表彰

| 大会ならびに研究会         | 件数  |
|-------------------|-----|
| 全国大会              | 40  |
| A部門大会             | 4   |
| B部門大会             | 7   |
| C部門大会             | 5   |
| D部門大会             | 8   |
| A部門各種研究会          | 17  |
| B部門各種研究会          | 14  |
| C部門各種研究会          | 8   |
| D部門各種研究会          | 13  |
| E準部門各種研究会         | 2   |
| 東京支部連合研究会         | 3   |
| 電気関係学会北海道支部連合大会   | 7   |
| 電気関係学会東北支部連合大会    | 7   |
| 電気関係学会東海支部連合大会    | 16  |
| 電気関係学会北陸支部連合大会    | 9   |
| 電気関係学会関西支部連合大会    | 9   |
| 電気・情報関連学会中国支部連合大会 | 9   |
| 電気関係学会四国支部連合大会    | 7   |
| 電気関係学会九州支部連合大会    | 15  |
| 合計                | 200 |

10. 研究調査活動

(1) 新設した技術委員会

[E準部門]

バイオ・マイクロシステム技術委員会 (H17.4)

(2) 専門委員会の数（新設・解散・継続中）

| 部門   | 新設 | 解散 | 継続中 |
|------|----|----|-----|
| A部門  | 15 | 13 | 23  |
| B部門  | 8  | 7  | 21  |
| C部門  | 16 | 15 | 15  |
| D部門  | 26 | 24 | 15  |
| E準部門 | 6  | 5  | 3   |
| 合計   | 71 | 64 | 77  |

(3) 新設した専門委員会

[A部門]

- ・リソグラフィ先端技術調査専門委員会 (H17.4)
- ・マイクロ磁気デバイスの情報通信機器への応用技術調査専門委員会 (H17.4)
- ・生体および医療における磁気利用調査専門委員会 (H17.4)
- ・イオンマイグレーションの発生特性と防止方法調査専門委員会 (H17.6)
- ・技術交流の歴史に関する国際共同研究調査専門委員会 (H17.7)
- ・安全・安心のための赤外線技術調査専門委員会 (H17.10)
- ・ナノコンポジット誘電体の界面現象と応用技術調査専門委員会 (H18.1)
- ・屋外用ポリマー絶縁材料の表面機能と長期性能調査専門委員会 (H18.1)
- ・“荷電粒子、励起種、解離種ならびに光子と原子分子ダイナミクス調査専門委員会” (H18.1)
- ・非熱平衡大気圧プラズマと環境浄化プロセス調査専門委員会 (H18.1)
- ・自然災害の予測と監視のための電磁界技術調査専門委員会 (H18.1)
- ・計算電磁気学の基礎解析技術調査専門委員会 (H18.1)
- ・X線電磁界応用技術調査専門委員会 (H18.1)
- ・電磁界逆散乱解析調査専門委員会

(H18.1)

- ・メタルスパッタプラズマの高度化調査専門委員会 (H18.1)

[B 部門]

- ・実規模電磁界解析のための数値計算技術調査専門委員会 (H17.4)
- ・配電線地中化の技術動向と課題調査専門委員会 (H17.6)
- ・高機能放射線発生利用技術調査専門委員会 (H17.7)
- ・分散型電源の系統連系解析モデル調査専門委員会 (H17.7)
- ・大電流エネルギー技術の高度化に関する調査専門委員会 (H17.7)
- ・魅力的な核融合炉技術調査専門委員会 (H17.8)
- ・水力発電所の設備障害に関する調査専門委員会 (H17.10)
- ・電力系統の利用を支える解析・運用技術調査専門委員会 (H17.11)

[C 部門]

- ・パワーデバイス高性能化・高機能化技術調査専門委員会 (H17.4)
- ・進化技術応用調査専門委員会 (H17.4)
- ・モデリングとシミュレーション調査専門委員会 (H17.5)
- ・ネットワークを利用した教育・学習システム調査専門委員会 (H17.5)
- ・日常生活における情報サービスの協動的連携技術調査専門委員会 (H17.5)
- ・ミリ波技術のグローバルシステム応用とその展開調査専門委員会 (H17.6)
- ・医用・生体工学分野からみた人間と情報環境に関する調査専門委員会 (H17.6)
- ・センサネットワーク調査専門委員会 (H17.10)
- ・高度ワイヤレスユビキタス社会を支える超高速デバイス・回路技術調査専門委員会 (H17.10)
- ・21世紀型産業環境における価値創造・組織連携システム調査専門委員会 (H17.10)
- ・画像監視および画像認識のシステム制御技術への適用調査専門委員

会 (H17.11)

- ・最先端レーザマイクロ・ナノ加工とその産業応用調査専門委員会 (H17.12)
- ・ユビキタスディスプレイ調査専門委員会 (H18.1)
- ・次世代ハイパワー応用ワイドギャップ半導体材料技術調査専門委員会 (H18.1)
- ・資源循環ネットワーク技術調査専門委員会 (H18.1)
- ・IV族系ヘテロ超微細デバイス材料技術調査専門委員会 (H18.2)

[D 部門]

- ・電動力応用の基礎教育協同研究委員会 (H17.4)
- ・産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会 (H17.4)
- ・医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会 (H17.4)
- ・誘導機故障診断技術調査専門委員会 (H17.4)
- ・小形モータの用途別性能向上および評価技術調査専門委員会 (H17.4)
- ・回転機の高速高精度電磁界解析技術調査専門委員会 (H17.4)
- ・ソフトスイッチング技術とその実用化動向調査専門委員会 (H17.4)
- ・パワーエレクトロニクスシステムにおけるモデリングとシミュレーション技術協同研究委員会 (H17.5)
- ・PMモータの産業応用調査専門委員会 (H17.6)
- ・生産におけるヒューマンファクター協同研究委員会 (H17.6)
- ・ロバスト・適応制御融合技術とハイブリッド制御技術の産業応用に関する協同研究委員会 (H17.7)
- ・ユビキタス技術産業応用協同研究委員会 (H17.7)
- ・ITS技術による自動車交通の環境負荷低減に関する調査専門委員会 (H17.7)
- ・予防保全と維持管理技術の公共施設応用に関する協同研究委員会

(H17.7)

- ・非整備環境におけるパターン認識技術の応用展開協同研究委員会 (H17.9)
- ・ウェアレットと知識発見技術に関する協同研究委員会 (H17.10)
- ・直流機におけるフラッシュオーバー現象の原因と対策技術調査専門委員会 (H17.10)
- ・電動機開発動向を踏まえた次世代電動機制御技術調査専門委員会 (H17.10)
- ・IT利用のパワーエレクトロニクス教育支援に関する協同研究委員会 (H17.10)
- ・電気鉄道の電磁環境に関する協同研究委員会 (H17.11)
- ・地域における効率的な健康増進支援システムの構築協同研究委員会 (H17.12)
- ・環境適応型モーションコントロール協同研究委員会 (H18.1)
- ・ナノスケールサーボのための新しい制御技術協同研究委員会 (H18.1)
- ・超高速ドライブと非接触軸受技術調査専門委員会 (H18.1)
- ・直接形交流電力変換回路の実用化と応用技術調査専門委員会 (H18.1)
- ・自動車用電源システムマネジメント調査専門委員会 (H18.1)

[E 準部門]

- ・感性ナノセンシング調査専門委員会 (H17.6)
- ・ユビキタス・センサ技術とその動向調査専門委員会 (H17.7)
- ・ユビキタス社会のためのナノマテリアル・プロセス技術調査専門委員会 (H17.7)
- ・匂いセンサと嗅覚ディスプレイ調査専門委員会 (H17.9)
- ・バイオ極限計測マイクロシステム技術調査専門委員会 (H17.12)
- ・マイクロ技術利用先進医療調査専門委員会 (H17.12)

(4) 解散した専門委員会

[A 部門]

- ・高電界電気絶縁における電荷挙動

- と界面調査専門委員会 (H17.7)
- ・ナノコンポジット材料の誘電・絶縁応用技術調査専門委員会 (H17.9)
- ・多角的赤外線応用推進技術調査専門委員会 (H17.9)
- ・ケーブル・電気機器のオンライン計測による絶縁劣化診断調査専門委員会 (H17.12)
- ・構造物への雷放電特性調査専門委員会 (H17.12)
- ・ナノメートル電磁波・X線電磁界技術調査専門委員会 (H17.12)
- ・自然電磁気現象解明と電磁界解析調査専門委員会 (H17.12)
- ・計算電磁気学(基礎・応用)調査専門委員会 (H17.12)
- ・電磁界による体内誘導電界・電流調査専門委員会 (H18.3)
- ・調和型磁気応用技術調査専門委員会 (H18.3)
- ・電力変換・制御システムにおける磁気応用技術調査専門委員会 (H18.3)
- ・磁気利用センシングシステム調査専門委員会 (H18.3)
- ・周波数・時刻の高精度計測応用技術調査専門委員会 (H18.3)
- [B 部門]**
- ・変電設備保全への IT 適用調査専門委員会 (H17.4)
- ・核融合プラズマを知る・操る技術調査専門委員会 (H17.5)
- ・エネルギーシステムにおける大電流技術調査専門委員会 (H17.6)
- ・ガス絶縁開閉装置の規格改訂と関連規格との整合性調査専門委員会 (H17.9)
- ・電力システムにおけるインテリジェントシステムの実用化とその実態評価調査専門委員会 (H17.11)
- ・がいし汚損性能評価技術調査専門委員会 (H17.12)
- ・次世代の原子力運転保守技術調査専門委員会 (H18.3)
- [C 部門]**
- ・ミリ波技術を用いたシステムの高機能化とその展開調査専門委員会 (H17.5)

- ・高周波アナログ集積回路の解析・設計技術調査専門委員会 (H17.9)
- ・次世代レーザプロセッシングとその産業応用調査専門委員会 (H17.9)
- ・ブロードバンド時代のネットワーク運用管理調査専門委員会 (H17.9)
- ・超高速デバイス・回路技術調査専門委員会 (H17.9)
- ・複合エネルギー需給システム技術調査専門委員会 (H17.10)
- ・フレキシブルデバイス用有機電子材料と評価技術調査専門委員会 (H17.10)
- ・高臨場感システム・デバイス調査専門委員会 (H17.12)
- ・IV 族系ヘテロデバイス・システム材料技術調査専門委員会 (H18.1)
- ・高機能 EM 回路デバイスの構成技術調査専門委員会 (H18.3)
- ・多機能回路実装技術調査専門委員会 (H18.3)
- ・リコンフィギャラブル機能 LSI とその応用調査専門委員会 (H18.3)
- ・システム集積プロセス調査専門委員会 (H18.3)
- ・21 世紀型組織に対応した CSCW システム技術調査専門委員会 (H18.3)
- ・光・量子コヒーレンス制御技術調査専門委員会 (H18.3)
- [D 部門]**
- ・次世代電気利用技術協同研究委員会 (H17.5)
- ・超電導磁気浮上式鉄道の技術的成熟度調査専門委員会 (H17.5)
- ・鉄道における国際規格と国内規格に関する用語整合性調査専門委員会 (H17.5)
- ・自動車用次世代電源システム調査専門委員会 (H17.5)
- ・直流機延命化技術の実用化調査専門委員会 (H17.6)
- ・先端ロバスト・適応制御技術の産業応用に関する協同研究委員会 (H17.6)
- ・ウェーブレットとその周辺技術に関する協同研究委員会 (H17.6)

- ・設計・生産・流通のためのユビキタス技術活用協同研究委員会 (H17.6)
- ・鉄道における環境とエネルギーに関する協同研究委員会 (H17.6)
- ・非整備環境におけるパターン認識技術の適用拡大協同研究委員会 (H17.8)
- ・圧延機用交流電動機の規格化 (TR) 調査専門委員会 (H17.9)
- ・同期機の寿命評価と保守技術調査専門委員会 (H17.9)
- ・実用化を目指したモーションコントロール協同研究委員会 (H17.9)
- ・超高速ドライブ・ベアリングレス関連技術調査専門委員会 (H17.9)
- ・鉄道車両と地上設備の EMC 協同研究委員会 (H17.9)
- ・自動車パワーエレクトロニクス調査専門委員会 (H17.9)
- ・マストレージシステムのための次世代サーボ技術調査専門委員会 (H17.11)
- ・時系列データに基づいた検査・モニタリングに関する産業技術調査専門委員会 (H18.2)
- ・工場電気設備更新実施方法調査専門委員会 (H18.3)
- ・空間認識を利用した人間の高度活動支援技術協同研究委員会 (H18.3)
- ・多自由度モータとその要素技術調査専門委員会 (H18.3)
- ・エラー前兆としてのハット・ヒヤリに係わるロジック・アルゴリズム協同研究委員会 (H18.3)
- ・公共施設の運用形態の多様化とシステム構築調査専門委員会 (H18.3)
- ・交流電動機駆動方式およびその応用技術調査専門委員会 (H18.3)
- [E 準部門]**
- ・ナノファブ리케이션調査専門委員会 (H17.6)
- ・ユビキタスネットワーク用センサに関する調査専門委員会 (H17.6)
- ・ナノ材料・プロセス技術調査専門委員会 (H17.6)
- ・センサ産業創出とセンサ新材料・

プロセス技術調査専門委員会  
(H17.6)

- ・マルチセンシングマイクロ物理センサ調査専門委員会 (H18.3)

(5) 継続中の専門委員会

[A 部門]

- ・アーク・グロー放電現象基礎技術調査専門委員会
- ・柔構造を持つ有機電気・電子材料のナノテクノロジーへの展開に関する調査専門委員会
- ・情報・通信・電力基盤における雷害リスクマネジメントと協調調査専門委員会
- ・メディアデバイス・視覚システム調査専門委員会
- ・マイクロ磁気ドライブ技術調査専門委員会
- ・情報通信のための誘電絶縁材料調査専門委員会
- ・電力機器絶縁診断の経済性評価専門委員会
- ・環境対応材料の電気機器への応用調査専門委員会
- ・ナノ構造制御有機薄膜及び複合膜の機能化とデバイス応用調査専門委員会
- ・液体中の放電現象に関する極限計測技術調査専門委員会
- ・真空中における放電制御のための高度計測・シミュレーション技術調査専門委員会
- ・高性能永久磁石とその応用調査専門委員会
- ・電気工学関連分野における諸外国の教育実態調査専門委員会
- ・新しい光源とモデリング・計測調査専門委員会
- ・ナノスケール磁性体の機能調査専門委員会
- ・球状トカマク調査専門委員会
- ・ナノ熱磁気記録調査専門委員会
- ・先進超電導線材の製造技術と特性に関する調査専門委員会
- ・パルスパワー技術の産業応用調査専門委員会
- ・高速電力線通信システムと EMC 調査専門委員会
- ・電磁界観測による地震予知技術調

査専門委員会

- ・戦後電気技術における技術革新要因調査専門委員会
- ・電力用磁性材料活用技術調査専門委員会

[B 部門]

- ・電力系統における超電導電力機器特性調査専門委員会
- ・磁気力による物質の流動制御応用技術調査専門委員会
- ・配電線雷被害メカニズム調査専門委員会
- ・電力用コンデンサに関する国際規格と国内規格の整合性調査専門委員会
- ・高温超電導バルク材の応用基礎特性調査専門委員会
- ・超電導応用機器設計基礎技術調査専門委員会
- ・低圧・制御回路のサージ現象調査専門委員会
- ・サージ現象に関する数値電磁界解析手法調査専門委員会
- ・受配電設備のリサイクル技術調査専門委員会
- ・電力用避雷器の将来へ向けた技術展望調査専門委員会
- ・遮断器の信頼性とその向上技術調査専門委員会
- ・エネルギー高度利用 MHD 発電技術調査専門委員会
- ・配電業務への IT 適用調査専門委員会
- ・電力系統の運用体系調査専門委員会
- ・変圧器の不燃性・難燃性向上技術調査専門委員会
- ・過負荷保護技術調査専門委員会
- ・パワーエレクトロニクス機器の制御技術調査専門委員会
- ・送電用 CV ケーブル接続部の技術動向調査専門委員会
- ・中電圧スイッチギヤの保守および寿命評価に関する技術調査専門委員会
- ・風力発電設備の雷害様相調査専門委員会
- ・水素と燃料電池の未来技術調査専門委員会

[C 部門]

- ・大規模集積回路設計技術教育プログラム調査専門委員会
- ・超微細・低電力デバイス集積技術調査専門委員会
- ・高周波回路の信号信頼性とノイズ対策技術調査専門委員会
- ・マシンビジョンの実利用技術調査専門委員会
- ・非線形電子回路の応用技術調査専門委員会
- ・精密周波数の伝送と同期技術調査専門委員会
- ・次世代バイオメディカル・レーザ応用技術調査専門委員会
- ・パワー半導体レーザ応用システム調査専門委員会
- ・誘電体薄膜集積技術調査専門委員会
- ・カーボンナノチューブデバイス応用技術調査専門委員会
- ・量子放射ビームを用いたナノ・バイオプロセッシング技術調査専門委員会
- ・シーケンス制御における高信頼化技術調査専門委員会
- ・医療福祉のための生体計測技術調査専門委員会
- ・アナログ電子回路の設計支援技術調査専門委員会
- ・光・量子場ナノ化学応用技術調査専門委員会

[D 部門]

- ・パワエレ応用機器の EMC 協同研究委員会
- ・通信・高度位置情報応用システム調査専門委員会
- ・高度 IT 化次世代オフィスのオープン技術調査専門委員会
- ・交流電源インターフェイス用電力変換器技術調査専門委員会
- ・家庭等におけるユビキタスネットワークのエネルギー技術動向調査専門委員会
- ・工場電気設備協同研究委員会
- ・高速道路における情報提供の高度化に関する調査専門委員会
- ・磁気支持応用機器の高機能化協同研究委員会

- ・実用面から見たリラクタンストロク応用電動機の使用別最適化技術調査専門委員会
- ・配電系統に適用されるパワーエレクトロニクス技術の最新動向調査専門委員会
- ・センサの知能化によるシステムの高度化協同研究委員会
- ・インターネットが鉄道に与える影響に関する調査専門委員会
- ・ソフトコンピューティングと産業システムデザインへの応用調査専門委員会
- ・公共施設におけるセキュリティ・マネジメント技術調査専門委員会
- ・生産システムにおけるセーフティ・セキュリティ調査専門委員会

[E 準部門]

- ・ナノメータ変位アクチュエータ調査専門委員会
- ・21世紀におけるセキュリティとセンシングシステム調査専門委員会
- ・光集積化ナノ計測システム技術調査専門委員会

(6) 研究会

平成17年度における研究会の開催回数、発表論文数および資料予約者数は次のとおりである。

| NO | 研究会名      | 略号  | 開催数 | 発表論文数 | 資料予約者数 |
|----|-----------|-----|-----|-------|--------|
| 1  | 教育フロンティア  | FIE | 3   | 47    | 37     |
| 2  | 電磁界理論     | EMT | 4   | 126   | 147    |
| 3  | プラズマ      | PST | 5   | 100   | 78     |
| 4  | 電磁環境      | EMC | 4   | 40    | 67     |
| 5  | パルスパワー    | PPT | 2   | 32    | 44     |
| 6  | 放電        | ED  | 7   | 170   | 135    |
| 7  | 光応用・視覚    | LAV | 1   | 7     | 78     |
| 8  | 計測        | IM  | 9   | 73    | 100    |
| 9  | 誘電・絶縁材料   | DEI | 8   | 99    | 178    |
| 10 | 金属・セラミックス | MC  | 0   | 0     | 66     |
| 11 | マグネティックス  | MAG | 13  | 206   | 181    |
| 12 | 電気技術史     | HEE | 3   | 13    | 84     |
|    | 小計        |     | 59  | 913   | 1,195  |
| 13 | 静止器       | SA  | 4   | 100   | 113    |
| 14 | 開閉保護      | SP  | 2   | 78    | 82     |
| 15 | 新エネルギー・環境 | FTE | 2   | 50    | 112    |
| 16 | 原子力       | NE  | 3   | 14    | 41     |
| 17 | 電線・ケーブル   | EWC | 3   | 19    | 91     |
| 18 | 電力技術      | PE  | 4   | 174   | 125    |
| 19 | 高電圧       | HV  | 4   | 117   | 124    |
| 20 | 超電導応用電力機器 | ASC | 3   | 37    | 61     |

|    |                 |     |    |     |     |
|----|-----------------|-----|----|-----|-----|
| 21 | 保護リレーシステム       | PPR | 2  | 29  | 89  |
| 22 | 電力系統技術          | PSE | 4  | 174 | 69  |
|    | 小計              |     | 31 | 792 | 907 |
| 23 | 電子材料            | EPM | 2  | 24  | 85  |
| 24 | 電子デバイス          | EDD | 5  | 92  | 99  |
| 25 | 光・量子デバイス        | OQD | 6  | 51  | 73  |
| 26 | 電子回路            | ECT | 7  | 120 | 107 |
| 27 | システム・制御         | SC  | 2  | 18  | 123 |
| 28 | 情報処理            | IP  | 2  | 20  | 81  |
| 29 | 通信              | CMN | 4  | 77  | 65  |
| 30 | 情報システム          | IS  | 4  | 42  | 40  |
| 31 | 医用・生体工学         | MBE | 3  | 29  | 49  |
| 32 | メタボリズム社会・環境システム | MES | 0  | 0   | 26  |
|    | 小計              |     | 35 | 473 | 748 |
| 33 | 交通・電気鉄道         | TER | 6  | 101 | 105 |
| 34 | 金属産業            | MID | 4  | 17  | 42  |
| 35 | 一般産業            | GID | 0  | 0   | 36  |
| 36 | 回転機             | RM  | 7  | 175 | 225 |

|    |                 |     |     |       |       |
|----|-----------------|-----|-----|-------|-------|
| 37 | 半導体電力変換         | SPC | 8   | 190   | 246   |
| 38 | 産業電力電気応用        | IEA | 3   | 62    | 117   |
| 39 | 生産設備管理          | PFC | 0   | 0     | 41    |
| 40 | 産業計測制御          | IIC | 5   | 139   | 86    |
| 41 | 産業システム情報化       | IIS | 5   | 46    | 67    |
| 42 | リニアドライブ         | LD  | 5   | 88    | 123   |
| 43 | ITS             | ITS | 4   | 40    | 74    |
| 44 | 公共施設            | PPE | 2   | 14    | 135   |
| 45 | 自動車             | VT  | 0   | 0     | 89    |
|    | 小計              |     | 49  | 872   | 1,386 |
| 46 | フィジカルセンサ        | PHS | 4   | 70    | 80    |
| 47 | ケミカルセンサ         | CHS | 3   | 29    | 56    |
| 48 | マイクロマシン・センサシステム | MSS | 2   | 37    | 81    |
| 49 | バイオ・マイクロシステム    | BMS | 3   | 32    | 19    |
|    | 小計              |     | 12  | 168   | 236   |
|    | 合計              |     | 186 | 3,218 | 4,472 |

(7) 本会および技術委員会等主催による技術会合

平成17年度に本会および技術委員会等の主催で開催された公開技術会合は以下のとおりである。

| 技術会合名  | 開催場所、開催期間                  | 主催                       |
|--|----------------------------|--------------------------|
| 第9回アナログVLSIシンポジウム  | 東京工業大学<br>2005.4.7         | 電子回路研究専門委員会              |
| Workshop on Thermally Assisted MRAM and Thermo-magnetics | 名古屋大学<br>2005.4.9          | ナノ熱磁気記録調査専門委員会           |
| 産業応用フォーラム「上下水道施設におけるリスク・マネジメント」                          | 電気学会 会議室<br>2005.4.20      | 公共施設技術委員会                |
| 第34回EMシンポジウム   | 東北大学<br>2005.5.19~20       | 電子回路技術委員会                |
| ISEM2005   | 北九州国際会議場<br>2005.6.5~9     | 誘電・絶縁材料技術委員会             |
| 産業応用フォーラム「工場電気設備の停電実態調査と対策技術動向」                          | 電気学会 会議室<br>2005.6.10      | 産業電力電気応用技術委員会            |
| 産業応用フォーラム「誘導機の高性能化技術」                                    | 電気学会 会議室<br>2005.6.17      | 回転機技術委員会                 |
| 日本技術者教育認定制度「審査員養成研修会」                                    | 電気学会会議室<br>2005.8.27       | 技術者教育委員会<br>JABEE 審査実行部会 |
| 産業応用フォーラム「経年使用直流機の長寿命化技術について」                            | 中央電気倶楽部<br>2005.9.2        | 回転機技術委員会                 |
| 第5回産業用リニアドライブ国際シンポジウム(LDIA2005)                          | 淡路夢舞台<br>2005.9.25~28      | リニアドライブ技術委員会             |
| 産業応用フォーラム「ハイブリッド自動車におけるパワエレ制御とプロセッサ」                     | 名古屋大学<br>2005.9.26         | 自動車技術委員会                 |
| 産業応用フォーラム「パワエレ応用機器におけるEMC関連技術の現状と対策」                     | タワーホール船堀<br>2005.9.29      | 半導体電力変換技術委員会             |
| 産業応用フォーラム「進展を続ける可変速交流ドライブー21世紀の新技术ー」                     | タワーホール船堀<br>2005.10.5      | 半導体電力変換技術委員会             |
| 平成17年度エネルギーワンダーランド                                       | 東京都立工業高等専門学校<br>2005.10.19 | 電力・エネルギー部門               |
| 第22回センサ・マイクロマシンと応用システムシンポジウム                             | タワーホール船堀<br>2005.10.20~21  | センサ・マイクロマシン準部門           |
| J-Kシンポジウム  | ハンヤン大学<br>2005.11.3.4      | 放電技術委員会                  |
| 産業応用フォーラム「国際標準化BACSと通信プロトコル技術」                           | 住宅金融公庫本店ビル<br>2005.11.7    | 生産設備管理技術委員会              |
| 産業応用フォーラム「多次元ドライブシステムの可能性を探る」                            | タワーホール船堀<br>2005.12.9      | リニアドライブ技術委員会             |
| 電気学会主催<br>JABEE受審校のための研修会                                | 東芝研修センター<br>2005.12.10,11  | 技術者教育委員会<br>JABEE普及支援部会  |
| 第15回電磁界数値解析に関するセミナー                                      | 早稲田大学<br>2005.12.15        | 静止器技術委員会                 |

|  |                                   |                           |
|--|-----------------------------------|---------------------------|
| 「日本のライフラインを支える電力設備」シンポジウム                          | 東京電力電気の史料館<br>2005.12.21          | 静止器技術委員会                  |
| 産業応用フォーラム「リラクタンストルク<br>応用電動機の開発動向—自動車に向けての<br>進化—」 | 電気学会 会議室<br>2006.1.23             | 回転機技術委員会                  |
| 電気学会・東京都立産業技術研究所連携セ<br>ミナー                         | 東京都立産業技術研究所<br>西が丘庁舎<br>2006.2.21 | 電気学会、東京都立産業技術<br>研究所産業支援部 |
| シンポジウム「若者に電気の夢を」                                   | 経団連ホール<br>2006.2.28               | 電気学会                      |

## 11. 大会、総合研究会

平成17年度における電気学会主催の大会等は以下の通りである。

| 大会名                           | 開催場所                    | 発表件数                               |
|-------------------------------|-------------------------|------------------------------------|
| 全国大会                          | 横浜国立大学<br>3月15日～17日     | 一般講演：1,368件<br>シンポジウム：159件         |
| A部門（基礎・材料・共通部門）大会             | 日本大学<br>8月22日～23日       | 250件                               |
| B部門（電力・エネルギー部門）大会             | 大阪大学<br>8月10日～12日       | 393件                               |
| C部門（電子・情報・システム部門）大会           | 早稲田大学<br>9月6日～7日        | 257件                               |
| D部門（産業応用部門）大会                 | 福井大学<br>8月29日～31日       | 454件                               |
| E準部門（センサ・マイクロマシナ準部門）<br>総合研究会 | 京都大学<br>6月22日～23日       | 64件                                |
| 北海道支部連合大会                     | 北海道大学<br>10月22日～23日     | 一般講演：287件<br>特別講演：1件               |
| 東北支部連合大会                      | 岩手大学<br>8月25日～26日       | 一般講演：346件<br>セッション数：57セッション        |
| 東京支部連合研究会                     | 早稲田大学<br>9月8日～9日        | 一般講演：97件<br>特別講演：1件                |
| 東海支部連合大会                      | 名城大学<br>9月15日～16日       | 一般講演：637件<br>シンポジウム：6件             |
| 北陸支部連合大会                      | 石川工業高等専門学校<br>9月24日～25日 | 一般講演：404件<br>招待講演：7件<br>特別講演：1件    |
| 関西支部連合大会                      | 京都大学<br>11月12日～13日      | 一般講演：360件<br>シンポジウム：65件<br>特別講演：2件 |
| 中国支部連合大会                      | 福山大学<br>10月22日          | 一般講演：413件                          |
| 四国支部連合大会                      | 四国電力総合研修所<br>9月28日      | 一般講演：385件                          |
| 九州支部連合大会                      | 福岡工業大学<br>9月29日～30日     | 一般講演：610件<br>招待講演：1件               |

## 12. 電気規格調査会

### (1) 概要

平成17年度電気規格調査会（以下JECと称する）は、産業界の発展、および広く社会に貢献することを目的に、下記の項目に重点を置き活動を推進した。

- ① 電気規格調査会（JEC）規格の制定と普及
- ② 国際電気標準会議（IEC）規格に係わる審議
- ③ 日本工業標準規格（JIS）に係わ

る審議

### ④ JEC活動の運営改善と活性化の推進

以下、重点項目に沿って主要報告事項について述べる。

- ① JEC規格の制定・改訂と普及の推進
  - 1) JEC規格の制定  
JEC-TR、追補を含むJEC規格10件の制定・改訂を行った。
  - 2) 技術の進展に沿ったJEC規格の制定・改訂を推進するため、5年見直しの徹底

- 3) 新技術に対応するため産業界のフルコンセンサスを得る段階前の、JECテクニカルレポート（TR）制度を施行し、1件制定、1件審議中
- 4) 出版販売課／標準化推進室の連携と出版社を含めて、JEC規格の発行までの期間短縮の取り組みをはかり、入稿から発行までの期間を標準6ヶ月に対し、今年度発行分は4～5ヶ月とした。

### ② 国際電気標準会議（IEC）規格に係わる審議

- 1) IEC（International Electrotechnical Commission：国際電気標準会議）規格への、日本規格提案、ならびに日本意見の盛り込みの推進

- ・IEC文書1495件の内406件を回答

- ・IEC/TC（Technical Committee：専門委員会）14「電力用変圧器」において、日本規格提案である“ガス絶縁変圧器”を審議し、平成17年10月にCD（Committee Draft）を発行

- ・IEC/TC106「人体暴露に関する電界・磁界および電磁界の評価方法」において、日本規格提案である“電力線近傍電界磁界測定法”を審議し、平成18年1月にCDを発行

- 2) IEC規格への日本規格提案や日本意見を反映しやすくするための国際役員職務の獲得を推進し、現在10名確保

### 3) JEC規格の国際整合化推進

- ・保護リレー装置標準化委員会による「日本の高周波開閉サージに対するデジタルリレー運用の実績」をIEC規格提案する前段として、IEEEへ論文を発表。

### ③ 日本工業標準規格（JIS）に係わる審議

- 1) JIS原案の作成
  - ・2件（受託契約期間平成17



年4月1日から平成18年3月31日)のJIS原案作成を完了,1件(受託契約期間平成17年8月1日から平成17年7月31日)のJIS原案を作成中。

④ JEC活動の運営改善と活性化の推進

- 1) JEC活動の質および評価向上等を目的とした顕彰制度について,表彰委員会にて関連基準等を検討・整備し,平成17年12月に表彰推薦募集を実施。
- 2) 国際化・新分野対応等の環境進展に沿って,実態に則した「電気規格調査会 規程」の改定を実施し,委員総会を経て電気学会理事会で承認
- 3) 特定標準化機関(CSB)制度や,新JISマーク制度,強制法規へのJIS規格引用の促進など諸制度の導入などの動向を踏まえ,民間規格を取り巻く最近の状況を精査し,JEC規格の今後のあり方について検討するためのアドホック委員会を設置し,答申書を取り纏め中。
- (2) 委員会の新設(受託JIS委員会を除く)
  - ① 20kVケーブルおよび接続部の試験法標準特別委員会
  - ② IEC/TC112国内委員会
  - ③ 「電気絶縁材料の耐熱性試験方法通則」標準特別委員会
- (3) 委員会の解散(受託JIS委員会を除く)
  - ① 低圧制御回路絶縁試験法・試験電圧標準特別委員会
  - ② ガス絶縁開閉装置標準特別委員会
  - ③ 懸垂がいし及び耐塩用懸垂がいし標準特別委員会
  - ④ 永久磁石励磁形同期機の特性格算定法特別委員会
- (4) 平成17年度のJIS制定・改訂委員会(受託委員会)
  - ① JIS C XXXX 原案作成委員会「電気絶縁材用の比誘電率及び誘電正接の試験方法(IEC6025)」
  - ② JIS C 61000-4-4 原案作成委員会

「電磁両立性第4部:試験及び測定技術 第4節:試験及び測定技術第7節:電力供給システム及びこれに接続する機器のための高調波及び次数間高調波測定方法及び計装に関する指針」

③ JIS C 61000-4-4 原案作成委員会「電磁両立性第4部:試験及び測定技術 第4節:電氣的ファストトランジェント/バーストイミュニティ試験」

(5) 会合数

|               |      |
|---------------|------|
| ① 会議種別会合数     |      |
| 規格委員総会        | 1回   |
| 規格役員会         | 6回   |
| 政策委員会         | 6回   |
| 部会            | 15回  |
| 標準化委員会        | 73回  |
| 標準特別委員会       | 59回  |
| IEC国内委員会(含関連) | 93回  |
| JIS制定・改訂委員会   | 19回  |
| 合計            | 272回 |
| ② 部会別会合数      |      |
| 電気一般          | 68回  |
| 計測制御通信        | 43回  |
| 電気機器          | 84回  |
| 原動機           | 11回  |
| 送配電           | 25回  |
| 電気材料          | 23回  |
| 電線・ケーブル       | 5回   |
| 輸送用電気設備       | 0回   |
| 合計            | 259回 |

(6) JEC規格および電気専門用語集

- ① 制定・改訂,廃止および確認  
[制定・改訂]
- ・JEC-0103-2005「低圧制御回路絶縁試験法・試験電圧標準」の改訂
  - ・JEC-2350-2005「ガス絶縁開閉装置」の改訂
  - ・JEC-5201-2005「懸垂がいし及び耐塩用懸垂がいし」の改訂
  - ・JEC-2515-2005「電力機器保護用比率差動継電器」の改訂
  - ・JEC-2440-2005「自励半導体電力変換装置」の改訂
  - ・JEC-3401-2005「OFケーブルの高電圧試験法」の改訂
  - ・JEC-3408-2005「特別高圧架橋ポリエチレンケーブル及び接続部の

高電圧試験法」の英文化

- ・JEC-4001-2006「水車およびポンプ水車」の改訂
  - ・JEC-2410-2003「半導体電力変換装置」追補1の制定
  - ・JEC-TR21001-2005「永久磁石同期機の特性格算定」の制定
- [廃止]  
なし  
[確認]
- ・JEC-2401-2002「ターシオフサイリスタ」
  - ・JEC-2402-2002「整流ダイオード」
  - ・JEC-2420-2002「サイリスタ交流電力調整装置」
  - ・JEC-2433-2003「無停電電源装置」
  - ・JEC-2451-2002「直流可変毒駆動システム」
  - ・JEC-2452-2002「低圧交流可変速駆動システム」
- ② 制定・改訂中の項目  
(電気専門用語)
- ・専門用語集「電気鉄道」改訂案(計器用変成器)
  - ・JEC-1201-1996「計器用変成器(保護継電器用)」改訂案(保護リレー装置)
  - ・JEC-2500-1987「保護継電器」改訂案
  - ・JEC-2517「送電線保護用デジタル形電流差動継電器」制定案(回転機)
  - ・JEC-2100-1993「回転電気機械一般」改訂案
  - ・JEC-2131-1985「ガスタービン駆動同期発電機」改訂
  - ・JEC-TR21XXX「圧延機用交流電動機」制定案(電力用変圧器)
  - ・JEC-2201-1986「特殊変圧器」改訂案
  - ・JEC-2220-1988「負荷時タップ切換装置」改訂案(パワーエレクトロニクス)
  - ・JEC-2407「パワー半導体モジュール」制定案
  - ・JEC-2453「高圧交流可変速駆動システム」制定案
  - ・JEC-2405「絶縁ゲートバイポー



- ラトランジスタ」追補  
(ヒューズ)  
・JEC-2330-1986「電力ヒューズ」改訂案  
(絶縁協調)  
・JEC-0102-1994「試験電圧標準」改訂準備  
(がいし)  
・JEC-183-1984「ブッシング」改訂案  
「高電圧試験法一般」, 「高電圧試験用測定システム」制定検討  
(高電圧試験方法)  
・高電圧試験技術に関する基本 JEC 化 (JEC-0201, JEC-0202, JEC-213 を統廃合する後継規格)  
[備考] JEC-213-1982「インパルス電圧電流測定法」, JEC-0201-1988「交流電圧絶縁試験」, JEC-0202-1994「インパルス電圧・電流試験一般」  
(電気材料)  
・JEC-6152-1996「電気絶縁材料の耐放射線性試験方法通則」改訂案  
(電線・ケーブル)  
・JEC-3401-1986「OF ケーブルの高電圧試験法」改訂案  
③ JEC 規格の正誤票の発行なし  
(7) JIS の制定および改訂  
① JIS の制定改訂の原案作成 (受託)  
・JIS C XXXX「電気絶縁材用の比誘電率及び誘電正接の試験方法 (IEC6025)」制定  
・JIS C 61000-4-7「電磁両立性第 4 部：試験及び測定技術 第 7 節：電力供給システム及びこれに接続する機器のための高調波及び次数間高調波測定方法及び計装に関する指針」改訂  
② JIS の制定改訂原案作成中の項目  
・JIS C 61000-4-7「電磁両立性第 4 部：試験及び測定技術 第 4 節：電気的ファストランジェント／パーストイミュニティ試験」改訂 (平成 17 年 8 月 1 日から平成 18 年 7 月 31 日)  
(8) IEC 活動状況  
電気学会が担当している IEC 国内

委員会の数は、3 月 31 日現在で、TC が 28, SC が 13 である。これらの委員会の平成 17 年度の到着文書数は延べ 1534, 回答文書数は 261 であった。また出席した国際会議の数は 96, 出席者は延べ 204 名であった。  
日本が獲得した国際役員職務は次のとおり。  
・IEC/TC14「電力用変圧器」: 国際主査 1 名  
・IEC/SC (Sub Committee: 分科委員会) 22F「送配電用パワーエレクトロニクス」: 国際主査 1 名  
・IEC/SC36C「変電所用碍子」: 国際

幹事 1 名  
: 国際主査 1 名  
・IEC/TC68「磁性合金および磁性鋼」: 国際主査 1 名  
・IEC/TC77「電磁両立性」: 国際議長 1 名 (平成 18 年 10 月より就任予定)  
・IEC/SC77B「電磁両立性高周波現象」: 国際主査 1 名  
・IEC/TC106「人体暴露に関する電界・磁界および電磁界の評価方法」: 国際主査 1 名  
・IEC/TC112「電気絶縁材料とシステムの評価と認定」: 国際主査 2 名

[IEC 国際会議出席者]

平成 17 年度中に開催された TC, SC への出席状況は下表のとおりである。

| 委員会名 | 会 議           | 開 催 地                   | 期 間          | 出席者 |
|------|---------------|-------------------------|--------------|-----|
| TC2  | TC2/WG27      | グラッツ(オーストリア)            | H17.4.18~20  | 1名  |
| TC4  | TC4           | シュツツガルト<br>(ドイツ)        | H17.5.9~13   | 6名  |
|      | TC4/WG18      | シュツツガルト<br>(ドイツ)        | H17.5.8~10   | 1名  |
|      | TC4/WG24      | シュツツガルト<br>(ドイツ)        | H17.5.7      | 2名  |
|      | TC4/WG24      | フィラハ<br>(オーストラリア)       | H17.10.19    | 1名  |
|      | TC4/WG25      | シュツツガルト<br>(ドイツ)        | H17.5.8      | 1名  |
|      | TC4/WG25      | パリ(フランス)                | H17.9.29     | 1名  |
|      | TC4/WG26      | シュツツガルト<br>(ドイツ)        | H17.5.7~8    | 1名  |
|      | TC4/MT28      | シュツツガルト<br>(ドイツ)        | H17.5.8      | 1名  |
|      | TC4/MT28      | パリ(フランス)                | H17.10.20    | 1名  |
|      | TC4/WG29      | シュツツガルト<br>(ドイツ)        | H17.5.9      | 2名  |
| TC8  | TC8/WG1       | ケープタウン<br>(南アフリカ)       | H17.10.17    | 3名  |
|      | TC8/AHG3      | ケープタウン<br>(南アフリカ)       | H17.10.17    | 3名  |
|      | TC8/PT1       | ケープタウン<br>(南アフリカ)       | H17.10.18    | 2名  |
|      | TC8/AHG1      | ケープタウン<br>(南アフリカ)       | H17.10.19    | 3名  |
|      | TC8/MT1       | ケープタウン<br>(南アフリカ)       | H17.10.19    | 3名  |
|      | TC8 プレナリー会議   | ケープタウン<br>(南アフリカ)       | H17.10.20    | 4名  |
| TC10 | TC10/JWG32    | ミラノ(イタリア)               | H17.9.23     | 2名  |
|      | TC10          | ケープタウン<br>(南アフリカ)       | H17.10.19~20 | 2名  |
|      | TC10/JWG32    | ベオグラード<br>(セルビア・モンテネグロ) | H18.1.23     | 2名  |
| TC13 | TC13          | ケープタウン<br>(南アフリカ)       | H17.10.18    | 2名  |
| TC14 | TC14          | ケープタウン<br>(南アフリカ)       | H17.10.20~21 | 2名  |
| TC15 | SC15C         | 東京(日本)                  | H17.5.19~20  | 5名  |
| TC17 | SC17C         | ケープタウン<br>(南アフリカ)       | H17.10.17~19 | 2名  |
| TC22 | TC22          | ロスリン(アメリカ)              | H17.9.16     | 2名  |
|      | SC22E         | ロスリン(アメリカ)              | H17.9.14~15  | 2名  |
|      | SC22H         | ロスリン(アメリカ)              | H17.9.15     | 2名  |
|      | SC22G/WG10    | パリ(フランス)                | H17.5.30~31  | 1名  |
|      | SC22G/WG10    | ロンドン(イギリス)              | H17.9.20~23  | 1名  |
|      | SC22H/WG1/WG2 | ロスリン(アメリカ)              | H17.9.12~15  | 1名  |
|      | SC22H/MT4     | リーディング(イギリス)            | H18.2.14~15  | 1名  |

|           |   |                            |              |    |
|-----------|---|----------------------------|--------------|----|
| TC36      | TC36 運営計画会議<br>TC36/WG11  | パリ(フランス)                   | H17.9.26     | 1名 |
|           |   | パリ(フランス)                   | H17.9.27~28  | 1名 |
| TC37      | TC37/MT4<br><br>TC37/MT10, MT4TF<br>TC37/MT10<br>TC37/MT4   | セントピータービーチ<br>(アメリカ)       | H17.5.2~3    | 2名 |
|           |   | 川崎(日本)                     | H17.9.20~21  | 4名 |
|           |   | トレド(スペイン)                  | H18.3.1~2    | 1名 |
|           |   | トレド(スペイン)                  | H18.3.6~7    | 2名 |
| TC38      | TC38<br>TC38/WG37<br>TC38/WG37  | オパティヤ(クロアチア)               | H17.10.6~7   | 3名 |
|           |   | ミラノ(イタリア)                  | H18.1.11~12  | 1名 |
|           |   | パリ(フランス)                   | H17.12.14~15 | 1名 |
| TC42      | TC42 北京会議<br>TC42/MT3<br>TC42/MT4/WG12  | 北京(中国)                     | H17.8.31~9.1 | 3名 |
|           |   | 北京(中国)                     | H17.9.2~3    | 1名 |
|           |   | ボン(ドイツ)                    | H17.9.12~13  | 1名 |
| TC57      | TC57/WG10   | アンアーバ(アメリカ)                | H17.4.5~8    | 1名 |
| TC57      | TC57/WG15<br>TC57/WG10  | オークリッジ(アメリカ)               | H17.4.20~21  | 1名 |
|           |   | バーデン(スイス),<br>クラウス(オーストリア) | H17.8.29~9.2 | 1名 |
|           | TC57/WG15<br>TC57 プレナリ会議  | パリ(フランス)                   | H17.9.13~14  | 1名 |
|           |   | ケープタウン<br>(南アフリカ)          | H17.10.19~20 | 3名 |
|           | TC57/WG10<br>TC57/WG13  | シャーロット(アメリカ)               | H17.12.12~16 | 1名 |
|           |   | グリンデルバルド<br>(スイス)          | H18.1.23~25  | 1名 |
|           | TC57/WG14   | グリンデルバルド<br>(スイス)          | H18.1.25~27  | 1名 |
| TC57/WG10 | メリダ(メキシコ)   | H18.3.27~29                | 2名           |    |
| TC68      | TC68/JWG/WG1<br>TC68/WG2<br>TC68/WG4<br>TC68/WG5<br>TC68  | ベルリン(ドイツ)                  | H17.10.10    | 3名 |
|           |   | ベルリン(ドイツ)                  | H17.10.10    | 3名 |
|           |   | ベルリン(ドイツ)                  | H17.10.11    | 1名 |
|           |   | ベルリン(ドイツ)                  | H17.10.11    | 1名 |
|           |   | ベルリン(ドイツ)                  | H17.10.12    | 5名 |
| TC73      | TC73/WG1  | リュベック(ドイツ)                 | H17.9.2      | 1名 |
| TC77      | TC77 総会<br><br>TC77/WG13<br>SC77A/WG9<br>SC77A/WG1<br>SC77A/WG9<br>SC77A<br><br>SC77A/WG8<br>SC77A/WG1<br>SC77A/WG8<br>SC77B/WG10<br>SC77B/MT12<br>SC77B/CISPR-A/JWG-FAR<br>SC77B/CISPR-A/JWG-TEM<br>SC77B/WG10<br><br>SC77B<br><br>SC77B/WG11<br>SC77B/MT12<br>CISPR-A/77B/JWG-TEM | ケープタウン<br>(南アフリカ)          | H17.10.21    | 6名 |
|           |   | イズミール(トルコ)                 | H18.3.15~17  | 2名 |
|           |   | ビルバオ(スペイン)                 | H17.4.4~5    | 1名 |
|           |   | ローマ(イタリア)                  | H17.5.11~13  | 5名 |
|           |   | アラメダ(アメリカ)                 | H17.10.13~14 | 1名 |
|           |   | ケープタウン<br>(南アフリカ)          | H17.10.18~19 | 6名 |
|           |   | ロンドン(イギリス)                 | H17.11.1     | 1名 |
|           |   | サンディエゴ(アメリカ)               | H17.11.16~17 | 4名 |
|           |   | ノックスビル(アメリカ)               | H18.3.9~10   | 1名 |
|           |   | 北京(中国)                     | H17.4.25~29  | 2名 |
|           |   | 徳島(日本)                     | H17.5.2~4    | 3名 |
|           |   | デンバー(アメリカ)                 | H17.7.12~14  | 2名 |
|           |   | シカゴ(カナダ)                   | H17.8.8      | 1名 |
|           |   | シュテレン・ボッシュ<br>(南アフリカ)      | H17.10.10~14 | 2名 |
|           |   | ケープタウン<br>(南アフリカ)          | H17.10.19~20 | 3名 |
| バーゼル(スイス) | H17.10.31   | 2名                         |              |    |
| バーゼル(スイス) | H17.11.2~4  | 2名                         |              |    |
| ヨーク(イギリス) | H18.2.9~10  | 1名                         |              |    |
| TC95      | TC95/AHWG1<br>TC95/AHWG1<br>TC95/MT3<br>TC95/AHWG1<br>TC95/MT2<br>TC95/MT3  | マルモ(スウェーデン)                | H17.6.20~21  | 1名 |
|           |   | 東京(日本)                     | H17.10.3~4   | 2名 |
|           |   | 上海(中国)                     | H17.11.7~8   | 1名 |
|           |   | ローマ(イタリア)                  | H17.12.5~6   | 1名 |
|           |   | ブタペスト(ハンガリー)               | H17.12.7~9   | 1名 |
|           |   | スタフォード(イギリス)               | H18.2.20~21  | 2名 |
| TC106     | TC106/WG2 アドホック会議<br><br>TC106/PT62110 第1回会議<br>TC106/PT62110 第2回会議<br><br>TC106/PT62209<br>TC106/PT62209<br>PT106/PT62232<br>PT106/PT62232<br><br>TC106/WG5  | ケープタウン<br>(南アフリカ)          | H17.10.15~22 | 2名 |
|           |   | 大阪(日本)                     | H17.6.16~17  | 7名 |
|           |   | フォンテーヌブロー<br>(フランス)        | H17.11.28~29 | 3名 |
|           |   | ダブリン(アイルランド)               | H17.6.28~29  | 2名 |
|           |   | オタワ(カナダ)                   | H17.11.9~10  | 2名 |
|           |   | ジュネーブ(スイス)                 | H17.6.17     | 2名 |
|           |   | メルボルン<br>(オーストラリア)         | H17.11.21~23 | 1名 |
|           |   | コペンハーゲン<br>(デンマーク)         | H18.3.27~28  | 1名 |
| TC109     | TC109/MT1 & MT2   | ジュネーブ(スイス)                 | H18.1.25~26  | 1名 |
| TC112     | TC112<br><br>TC112 60085/62114 見直し会議  | クロッテンルンド<br>(デンマーク)        | H17.11.17~18 | 5名 |
|           |   | クロッテンルンド<br>(デンマーク)        | H17.11.14    | 5名 |

|               |                     |           |    |
|---------------|---------------------|-----------|----|
| TC112/MT8     | クロッテンランド<br>(デンマーク) | H17.11.15 | 4名 |
| TC112/耐熱性WG   | クロッテンランド<br>(デンマーク) | H17.11.16 | 5名 |
| TC112/アドホック会議 | クロッテンランド<br>(デンマーク) | H17.11.16 | 1名 |

- (注)A 部門→基礎・材料・共通部門  
 B 部門→電力・エネルギー部門  
 C 部門→電子・情報・システム部門  
 D 部門→産業応用部門  
 E 準部門→センサ・マイクロマシン準部門

# 平成17年度会計報告

## 収支計算書総括表

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目            | 合 計           | 一般会計          | 特別会計       | 支部会計       | 内部取引消去      |
|----------------|---------------|---------------|------------|------------|-------------|
| <b>I 収入の部</b>  |               |               |            |            |             |
| 1 会費・入会金収入     | 299,290,259   | 299,290,259   | 0          | 0          |             |
| 2 事業収入         | 587,235,888   | 570,437,252   | 6,885,691  | 11,776,073 | △1,863,128  |
| 3 寄付金・補助金等収入   | 9,427,000     | 7,542,000     | 0          | 27,094,000 | △25,209,000 |
| 4 雑収入          | 14,855,513    | 13,971,966    | 0          | 883,547    |             |
| 5 特定預金取崩収入     | 128,830,447   | 117,539,267   | 11,291,180 | 0          |             |
| 6 繰入金収入        | 0             | 11,291,180    | 0          | 0          | △11,291,180 |
| 当期収入合計(A)      | 1,039,639,107 | 1,020,071,924 | 18,176,871 | 39,753,620 | △38,363,308 |
| 前期繰越収支差額       | 381,240,245   | 302,791,805   | 47,179,821 | 31,268,619 |             |
| 収入合計(B)        | 1,420,879,352 | 1,322,863,729 | 65,356,692 | 71,022,239 | △38,363,308 |
| <b>II 支出の部</b> |               |               |            |            |             |
| 1 事業費          | 631,084,558   | 632,501,700   | 3,558,952  | 21,616,034 | △26,592,128 |
| 2 管理費          | 270,858,805   | 253,928,200   | 0          | 17,410,605 | △480,000    |
| 3 固定資産取得支出     | 83,569,330    | 83,569,330    | 0          | 0          |             |
| 4 特定預金支出       | 32,732,568    | 32,732,568    | 0          | 0          |             |
| 5 繰入金支出        | 0             | 0             | 11,291,180 | 0          | △11,291,180 |
| 当期支出合計(C)      | 1,018,245,261 | 1,002,731,798 | 14,850,132 | 39,026,639 | △38,363,308 |
| 当期収支差額(A-C)    | 21,393,846    | 17,340,126    | 3,326,739  | 726,981    |             |
| 次期繰越収支差額(B-C)  | 402,634,091   | 320,131,931   | 50,506,560 | 31,995,600 |             |

## 正味財産増減計算書総括表

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目            | 合 計           | 一般会計        | 特別会計        | 支部会計       | 内部取引消去 |
|----------------|---------------|-------------|-------------|------------|--------|
| <b>I 増加の部</b>  |               |             |             |            |        |
| 資産増加額          | 162,425,430   | 157,219,583 | 3,326,739   | 1,879,108  |        |
| 負債減少額          | 50,352,634    | 50,352,634  | 0           | 0          |        |
| 増加額合計          | 212,778,064   | 207,572,217 | 3,326,739   | 1,879,108  |        |
| <b>II 減少の部</b> |               |             |             |            |        |
| 資産減少額          | 147,326,424   | 134,376,745 | 11,797,552  | 1,152,127  |        |
| 負債増加額          | 19,656,328    | 19,656,328  | 0           | 0          |        |
| 減少額合計          | 166,982,752   | 154,033,073 | 11,797,552  | 1,152,127  |        |
| 当期正味財産増加額      | 45,795,312    | 53,539,144  | △8,470,813  | 726,981    |        |
| 前期繰越正味財産額      | 1,686,302,243 | 662,062,322 | 992,971,302 | 31,268,619 |        |
| 期末正味財産合計額      | 1,732,097,555 | 715,601,466 | 984,500,489 | 31,995,600 |        |

## 貸借対照表総括表

平成18年3月31日現在

(単位：円)

| 科 目               | 合 計           | 一般会計          | 特別会計        | 支部会計       | 内部取引消去   |
|-------------------|---------------|---------------|-------------|------------|----------|
| <b>I 資産の部</b>     |               |               |             |            |          |
| 流動資産              | 779,121,543   | 696,606,160   | 50,506,560  | 32,488,823 | △480,000 |
| 固定資産              |               |               |             |            |          |
| 基本財産              | 20,000,000    | 20,000,000    | 0           | 0          |          |
| その他の固定資産          | 1,330,520,208 | 394,306,279   | 936,213,929 | 0          |          |
| 固定資産合計            | 1,350,520,208 | 414,306,279   | 936,213,929 | 0          |          |
| 資産合計              | 2,129,641,751 | 1,110,912,439 | 986,720,489 | 32,488,823 | △480,000 |
| <b>II 負債の部</b>    |               |               |             |            |          |
| 流動負債              | 239,188,900   | 239,175,677   | 0           | 493,223    | △480,000 |
| 固定負債              | 158,355,296   | 156,135,296   | 2,220,000   | 0          |          |
| 負債合計              | 397,544,196   | 395,310,973   | 2,220,000   | 493,223    | △480,000 |
| <b>III 正味財産の部</b> |               |               |             |            |          |
| 正味財産              | 1,732,097,555 | 715,601,466   | 984,500,489 | 31,995,600 |          |
| 負債及び正味財産合計        | 2,129,641,751 | 1,110,912,439 | 986,720,489 | 32,488,823 | △480,000 |

# 平成17年度一般会計

## 収支計算書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目             | 予算額(A)        | 決算額(B)        | 差 異(A-B)       | 備 考 |
|-----------------|---------------|---------------|----------------|-----|
| <b>I 収入の部</b>   |               |               |                |     |
| 1 会費・入会金収入      | [291,853,000] | [299,290,259] | [△ 7,437,259]  |     |
| 正員会費収入          | 183,631,000   | 191,068,568   | △ 7,437,568    |     |
| 准員会費収入          | 888,000       | 1,210,600     | △ 322,600      |     |
| 学生会費収入          | 8,016,000     | 7,384,808     | 631,192        |     |
| 入会金収入           | 970,000       | 0             | 970,000        |     |
| 維持員会費収入         | 98,348,000    | 99,626,283    | △ 1,278,283    |     |
| 2 事業収入          | [578,617,000] | [570,437,252] | [8,179,748]    |     |
| 学会誌収入           | 43,801,000    | 40,162,708    | 3,638,292      |     |
| 論文誌収入           | 164,645,000   | 133,359,580   | 31,285,420     |     |
| 図書収入            | 139,434,000   | 124,039,694   | 15,394,306     |     |
| 全国大会収入          | 32,760,000    | 37,281,394    | △ 4,521,394    |     |
| 部門大会収入          | 39,585,000    | 43,299,857    | △ 3,714,857    |     |
| 研究調査収入          | 76,938,000    | 70,808,540    | 6,129,460      |     |
| セミナー・シンポジウム収入   | 63,622,000    | 97,666,471    | △ 34,044,471   |     |
| JABEE 収入        | 8,200,000     | 13,432,460    | △ 5,232,460    |     |
| 電気規格調査収入        | 6,830,000     | 8,002,548     | △ 1,172,548    |     |
| その他事業収入         | 2,802,000     | 2,384,000     | 418,000        |     |
| 3 寄付金・補助金等収入    | [1,500,000]   | [7,542,000]   | [△ 6,042,000]  |     |
| 補助金収入           | 1,500,000     | 1,140,000     | 360,000        |     |
| 寄付金収入           | 0             | 6,402,000     | △ 6,402,000    |     |
| 4 雑収入           | [10,830,000]  | [13,971,966]  | [△ 3,141,966]  |     |
| 受取利息            | 7,295,000     | 8,310,696     | △ 1,015,696    |     |
| その他収入           | 3,535,000     | 5,661,270     | △ 2,126,270    |     |
| 5 特定預金取崩収入      | [77,000,000]  | [117,539,267] | [△ 40,539,267] |     |
| 退職給付引当預金取崩収入    | 0             | 30,483,671    | △ 30,483,671   |     |
| OA更新積立預金取崩収入    | 77,000,000    | 86,015,596    | △ 9,015,596    |     |
| 特定事業積立預金取崩収入    | 0             | 1,040,000     | △ 1,040,000    |     |
| 6 繰入金収入         | [10,000,000]  | [11,291,180]  | [△ 1,291,180]  |     |
| 繰入金収入           | 10,000,000    | 11,291,180    | △ 1,291,180    |     |
| 当期収入合計(A)       | 969,800,000   | 1,020,071,924 | △ 50,271,924   |     |
| 前期繰越収支差額        | 302,791,805   | 302,791,805   | 0              |     |
| 収入合計(B)         | 1,272,591,805 | 1,322,863,729 | △ 50,271,924   |     |
| <b>II 支出の部</b>  |               |               |                |     |
| 1 事業費           | [617,053,000] | [632,501,700] | [△ 15,448,700] |     |
| 学会誌出版費          | 77,590,000    | 66,110,364    | 11,479,636     |     |
| 論文誌出版費          | 136,872,000   | 141,455,008   | △ 4,583,008    |     |
| 図書出版費           | 91,866,000    | 86,517,619    | 5,348,381      |     |
| 全国大会費           | 32,570,000    | 34,494,157    | △ 1,924,157    |     |
| 部門大会費           | 37,137,000    | 37,426,183    | △ 289,183      |     |
| 研究調査委員会費        | 79,053,000    | 69,589,293    | 9,463,707      |     |
| セミナー・シンポジウム費    | 59,724,000    | 88,161,393    | △ 28,437,393   |     |
| 電気規格調査会費        | 27,766,000    | 24,496,755    | 3,269,245      |     |
| JABEE 費         | 8,160,000     | 15,092,391    | △ 6,932,391    |     |
| 支部交付金           | 26,000,000    | 25,209,000    | 791,000        |     |
| 部門費             | 11,539,000    | 9,829,979     | 1,709,021      |     |
| 賞金費             | 7,940,000     | 7,801,508     | 138,492        |     |
| 集金費             | 17,000,000    | 14,362,041    | 2,637,959      |     |
| その他事業費          | 3,836,000     | 11,956,009    | △ 8,120,009    |     |
| 2 管理費           | [216,396,000] | [253,928,200] | [△ 37,532,200] |     |
| 人件費             | 115,226,000   | 148,045,758   | △ 32,819,758   |     |
| 事務費             | 50,550,000    | 55,263,683    | △ 4,713,683    |     |
| 事務所費            | 50,620,000    | 50,618,759    | 1,241          |     |
| 3 固定資産取得支出      | [87,000,000]  | [83,569,330]  | [3,430,670]    |     |
| 什器備品購入支出        | 87,000,000    | 13,727,206    | 73,272,794     |     |
| ソフトウェア購入支出      | 0             | 69,842,124    | △ 69,842,124   |     |
| 4 特定預金支出        | [22,000,000]  | [32,732,568]  | [△ 10,732,568] |     |
| 退職給付引当預金支出      | 5,000,000     | 52,386        | 4,947,614      |     |
| 寄付金受入特定預金支出     | 0             | 6,402,000     | △ 6,402,000    |     |
| OA更新積立預金支出      | 17,000,000    | 20,002,389    | △ 3,002,389    |     |
| 記念事業積立預金支出      | 0             | 5,000,000     | △ 5,000,000    |     |
| 特定事業積立預金支出      | 0             | 1,275,793     | △ 1,275,793    |     |
| 5 予備費           | [10,000,000]  | [0]           | [10,000,000]   |     |
| 予備費             | 10,000,000    | 0             | 10,000,000     |     |
| 当期支出合計(C)       | 952,449,000   | 1,002,731,798 | △ 50,282,798   |     |
| 当期収支差額(A)-(C)   | 17,351,000    | 17,340,126    | 10,874         |     |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 320,142,805   | 320,131,931   | 10,874         |     |

正味財産増減計算書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目          | 金 額        |             |
|--------------|------------|-------------|
| I 増加の部       |            |             |
| 1 資産増加額      |            |             |
| 当期収支差額       | 17,340,126 |             |
| 什器備品購入額      | 13,727,206 |             |
| ソフトウェア購入額    | 69,842,124 |             |
| 商品増加額        | 23,577,559 |             |
| 退職給付引当預金増加額  | 52,386     |             |
| 寄付金受入特定預金増加額 | 6,402,000  |             |
| OA更新積立預金増加額  | 20,002,389 |             |
| 記念事業積立預金増加額  | 5,000,000  |             |
| 特定事業積立預金増加額  | 1,275,793  |             |
|              |            | 157,219,583 |
| 2 負債減少額      |            |             |
| 退職給付引当金取崩額   | 50,352,634 | 50,352,634  |
| 増加額合計        |            | 207,572,217 |
| II 減少の部      |            |             |
| 1 資産減少額      |            |             |
| 什器備品減価償却額    | 6,878,895  |             |
| ソフトウェア減価償却額  | 9,958,583  |             |
| 退職給付引当預金取崩額  | 30,483,671 |             |
| OA更新積立預金取崩額  | 86,015,596 |             |
| 特定事業積立預金取崩額  | 1,040,000  |             |
|              |            | 134,376,745 |
| 2 負債増加額      |            |             |
| 退職給付引当金繰入額   | 19,656,328 | 19,656,328  |
| 減少額合計        |            | 154,033,073 |
| 当期正味財産増加額    |            | 53,539,144  |
| 前期繰越正味財産額    |            | 662,062,322 |
| 期末正味財産合計額    |            | 715,601,466 |

貸借対照表

平成18年3月31日現在

(単位：円)

| 科 目           | 金 額         |               |
|---------------|-------------|---------------|
| I 資産の部        |             |               |
| 1 流動資産        |             |               |
| 現金預金          | 424,802,402 |               |
| 未収金           | 121,174,810 |               |
| 商品            | 137,298,552 |               |
| 支部会計勘定        | 480,000     |               |
| その他流動資産       | 12,850,396  |               |
| 流動資産合計        |             | 696,606,160   |
| 2 固定資産        |             |               |
| (基本財産)        |             |               |
| 預金            | 20,000,000  |               |
| 基本財産合計        | 20,000,000  |               |
| (その他の固定資産)    |             |               |
| 什器備品          | 15,861,415  |               |
| ソフトウェア        | 61,714,216  |               |
| 電話加入権         | 385,252     |               |
| 敷金            | 32,470,200  |               |
| 投資有価証券        | 75,521,700  |               |
| 退職給付引当預金      | 156,135,296 |               |
| 寄付金受入特定預金     | 6,402,000   |               |
| OA更新積立預金      | 20,000,000  |               |
| 記念事業積立預金      | 5,000,000   |               |
| 特定事業積立預金      | 20,816,200  |               |
| その他の固定資産合計    | 394,306,279 |               |
| 固定資産合計        |             | 414,306,279   |
| 資産合計          |             | 1,110,912,439 |
| II 負債の部       |             |               |
| 1 流動負債        |             |               |
| 未払金           | 35,487,386  |               |
| 未払消費税等        | 1,500,000   |               |
| 前受金           | 174,656,540 |               |
| 預り金           | 6,787,642   |               |
| その他流動負債       | 20,744,109  |               |
| 流動負債合計        |             | 239,175,677   |
| 2 固定負債        |             |               |
| 退職給付引当金       | 156,135,296 | 156,135,296   |
| 固定負債合計        |             | 156,135,296   |
| 負債合計          |             | 395,310,973   |
| III 正味財産の部    |             |               |
| 正味財産          |             | 715,601,466   |
| (うち基本金)       |             | (20,000,000)  |
| (うち当期正味財産増加額) |             | (53,539,144)  |
| 負債及び正味財産合計    |             | 1,110,912,439 |

## 平成 17 年度特別会計

### 収支計算書

平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

| 科 目               | 予算額(A)       | 決算額(B)       | 差 異(A-B)      | 備 考 |
|-------------------|--------------|--------------|---------------|-----|
| I 収入の部            |              |              |               |     |
| 1 事業収入            | [6,825,000]  | [6,885,691]  | [△ 60,691]    |     |
| 賞金基金利息            | 75,000       | 39,667       | 35,333        |     |
| 桜井基金利息            | 1,000,000    | 1,174,014    | △ 174,014     |     |
| 国際交流基金利息          | 400,000      | 402,654      | △ 2,654       |     |
| 学術振興基金利息          | 700,000      | 579,889      | 120,111       |     |
| 拡充整備資金利息等         | 4,650,000    | 4,689,467    | △ 39,467      |     |
| 2 特定預金取崩収入        | [10,000,000] | [11,291,180] | [△ 1,291,180] |     |
| 百周年記念資産(積立預金)取崩収入 | 10,000,000   | 11,291,180   | △ 1,291,180   |     |
| 当期収入合計(A)         | 16,825,000   | 18,176,871   | △ 1,351,871   |     |
| 前期繰越収支差額          | 47,179,821   | 47,179,821   | 0             |     |
| 収入合計(B)           | 64,004,821   | 65,356,692   | △ 1,351,871   |     |
| II 支出の部           |              |              |               |     |
| 1 事業費             | [4,250,000]  | [3,558,952]  | [691,048]     |     |
| 国際会議交流補助金支出       | 1,250,000    | 851,312      | 398,688       |     |
| 学術振興表彰等助成金支出      | 500,000      | 601,273      | △ 101,273     |     |
| 拡充整備費等            | 2,500,000    | 2,106,367    | 393,633       |     |
| 2 繰入金支出           | [10,000,000] | [11,291,180] | [△ 1,291,180] |     |
| 繰入金支出             | 10,000,000   | 11,291,180   | △ 1,291,180   |     |
| 当期支出合計(C)         | 14,250,000   | 14,850,132   | △ 600,132     |     |
| 当期収支差額(A)-(C)     | 2,575,000    | 3,326,739    | △ 751,739     |     |
| 次期繰越収支差額(B)-(C)   | 49,754,821   | 50,506,560   | △ 751,739     |     |

### 正味財産増減計算書

平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

| 科 目              | 金 額        |             |
|------------------|------------|-------------|
| I 増加の部           |            |             |
| 1 資産増加額          |            |             |
| 当期収支差額           | 3,326,739  | 3,326,739   |
| 増加額合計            |            | 3,326,739   |
| II 減少の部          |            |             |
| 1 資産減少額          |            |             |
| 百周年記念資産(建物)減価償却額 | 506,372    |             |
| 百周年記念資産(積立預金)取崩額 | 11,291,180 | 11,797,552  |
| 減少額合計            |            | 11,797,552  |
| 当期正味財産減少額        |            | 8,470,813   |
| 前期繰越正味財産額        |            | 992,971,302 |
| 期末正味財産合計額        |            | 984,500,489 |

### 貸借対照表

平成 18 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

| 科 目           | 金 額         |             |
|---------------|-------------|-------------|
| I 資産の部        |             |             |
| 1 流動資産        |             |             |
| 現金預金          | 50,506,560  |             |
| 流動資産合計        |             | 50,506,560  |
| 2 固定資産        |             |             |
| (その他の固定資産)    |             |             |
| 投資有価証券        | 9,728,215   |             |
| 百周年記念資産       | 885,063,929 |             |
| 信託預金          | 41,421,785  |             |
| その他の固定資産合計    | 936,213,929 |             |
| 固定資産合計        |             | 936,213,929 |
| 資産合計          |             | 986,720,489 |
| II 負債の部       |             |             |
| 1 固定負債        |             |             |
| 預り保証金         | 2,220,000   |             |
| 固定負債合計        |             | 2,220,000   |
| 負債合計          |             | 2,220,000   |
| III 正味財産の部    |             |             |
| 正味財産          |             | 984,500,489 |
| (うち当期正味財産減少額) |             | (8,470,813) |
| 負債及び正味財産合計    |             | 986,720,489 |

## 平成 17 年度支部会計

### 収支計算書

平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

| 科 目           | 全支部合計       |            |             | 支部別実績     |           |            |           |            |            |           |           |           |
|---------------|-------------|------------|-------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|
|               | 予算(A)       | 実績(B)      | 差異(A-B)     | 北海道       | 東北        | 東京         | 北陸        | 東海         | 関西         | 中国        | 四国        | 九州        |
| I 収入の部        |             |            |             |           |           |            |           |            |            |           |           |           |
| 1 事業収入        | 9,291,000   | 11,776,073 | △ 2,485,073 | 150,000   | 0         | 6,078,185  | 135,000   | 514,000    | 3,472,830  | 637,948   | 170,695   | 617,415   |
| 研究調査収入        | 6,138,000   | 7,312,728  | △ 1,174,728 | 150,000   | 0         | 3,080,000  | 55,000    | 514,000    | 2,663,670  | 201,948   | 170,695   | 477,415   |
| 支部大会収入        | 2,523,000   | 3,015,185  | △ 492,185   | 0         | 0         | 2,875,185  | 0         | 0          | 0          | 0         | 0         | 140,000   |
| セミナー、シンポジウム収入 | 630,000     | 1,448,160  | △ 818,160   | 0         | 0         | 123,000    | 80,000    | 0          | 809,160    | 436,000   | 0         | 0         |
| 2 交付金・補助金等収入  | 27,829,000  | 27,094,000 | 735,000     | 1,426,000 | 1,810,000 | 5,480,000  | 1,528,000 | 5,993,000  | 5,330,000  | 1,728,000 | 1,412,000 | 2,387,000 |
| 交付金収入         | 25,989,000  | 25,209,000 | 780,000     | 1,426,000 | 1,810,000 | 4,850,000  | 1,528,000 | 4,738,000  | 5,330,000  | 1,728,000 | 1,412,000 | 2,387,000 |
| 民間補助金収入       | 1,360,000   | 1,395,000  | △ 35,000    | 0         | 0         | 140,000    | 0         | 1,255,000  | 0          | 0         | 0         | 0         |
| その他補助金等収入     | 480,000     | 490,000    | △ 10,000    | 0         | 0         | 490,000    | 0         | 0          | 0          | 0         | 0         | 0         |
| 3 雑収入         | 225,000     | 883,547    | △ 658,547   | 11        | 9         | 1,686      | 87,007    | 48         | 412,072    | 382,663   | 21        | 30        |
| 受取利息          | 4,000       | 1,880      | 2,120       | 11        | 9         | 1,686      | 7         | 48         | 22         | 63        | 21        | 13        |
| その他収入         | 221,000     | 881,667    | △ 660,667   | 0         | 0         | 0          | 87,000    | 0          | 412,050    | 382,600   | 0         | 17        |
| 当期収入合計(A)     | 37,345,000  | 39,753,620 | △ 2,408,620 | 1,576,011 | 1,810,009 | 11,559,871 | 1,750,007 | 6,507,048  | 9,214,902  | 2,748,611 | 1,582,716 | 3,004,445 |
| 前期繰越収支差額      | 31,268,619  | 31,268,619 | 0           | 890,899   | 1,567,206 | 16,665,230 | 649,091   | 5,503,766  | 1,070,802  | 2,853,508 | 1,013,045 | 1,055,072 |
| 収入合計(B)       | 68,613,619  | 71,022,239 | △ 2,408,620 | 2,466,910 | 3,377,215 | 28,225,101 | 2,399,098 | 12,010,814 | 10,285,704 | 5,602,119 | 2,595,761 | 4,059,517 |
| II 支出の部       |             |            |             |           |           |            |           |            |            |           |           |           |
| 1 事業費         | 21,061,000  | 21,616,034 | △ 555,034   | 811,115   | 1,606,613 | 8,944,425  | 1,472,511 | 3,022,523  | 2,623,114  | 1,403,719 | 677,882   | 1,054,132 |
| 研究調査会費        | 10,033,000  | 12,687,389 | △ 2,654,389 | 710,506   | 732,408   | 4,821,253  | 756,956   | 1,356,455  | 2,554,394  | 948,697   | 431,774   | 374,946   |
| 支部大会費         | 3,086,000   | 2,967,252  | 118,748     | 0         | 0         | 2,629,326  | 0         | 0          | 0          | 0         | 0         | 337,926   |
| 連合大会費         | 2,022,000   | 1,840,448  | 181,552     | 0         | 702,500   | 0          | 180,000   | 392,768    | 68,720     | 143,370   | 173,090   | 180,000   |
| セミナー、シンポジウム費  | 4,491,000   | 3,316,347  | 1,174,653   | 20,105    | 80,315    | 1,171,286  | 516,331   | 1,273,300  | 0          | 245,010   | 0         | 10,000    |
| 賞金・表彰費        | 1,429,000   | 804,598    | 624,402     | 80,504    | 91,390    | 322,560    | 19,224    | 0          | 0          | 66,642    | 73,018    | 151,260   |
| 2 管理費         | 19,452,000  | 17,410,605 | 2,041,395   | 839,342   | 350,063   | 2,932,088  | 543,695   | 3,832,698  | 5,509,585  | 678,080   | 879,322   | 1,845,732 |
| 事務委託費         | 6,468,000   | 6,954,476  | △ 486,476   | 400,000   | 0         | 0          | 0         | 1,711,680  | 3,826,196  | 0         | 0         | 1,016,600 |
| その他管理費        | 12,984,000  | 10,456,129 | 2,527,871   | 439,342   | 350,063   | 2,932,088  | 543,695   | 2,121,018  | 1,683,389  | 678,080   | 879,322   | 829,132   |
| 3 予備費         | 729,000     | 0          | 729,000     | 0         | 0         | 0          | 0         | 0          | 0          | 0         | 0         | 0         |
| 予備費           | 729,000     | 0          | 729,000     | 0         | 0         | 0          | 0         | 0          | 0          | 0         | 0         | 0         |
| 当期支出合計(C)     | 41,242,000  | 39,026,639 | 2,215,361   | 1,650,457 | 1,956,676 | 11,876,513 | 2,016,206 | 6,855,221  | 8,132,699  | 2,081,799 | 1,557,204 | 2,899,864 |
| 当期収支差額(A-C)   | △ 3,897,000 | 726,981    | △ 4,623,981 | △ 74,446  | △ 146,667 | △ 316,642  | △ 266,199 | △ 348,173  | 1,082,203  | 666,812   | 25,512    | 104,581   |
| 次期繰越収支差額(B-C) | 27,371,619  | 31,995,600 | △ 4,623,981 | 816,453   | 1,420,539 | 16,348,588 | 382,892   | 5,155,593  | 2,153,005  | 3,520,320 | 1,038,557 | 1,159,653 |

### 正味財産増減計算書

平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

| 科 目       | 全支部合計      | 北海道      | 東北        | 東京         | 北陸        | 東海        | 関西        | 中国        | 四国        | 九州        |
|-----------|------------|----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| I 増加の部    |            |          |           |            |           |           |           |           |           |           |
| 1 資産増加額   |            |          |           |            |           |           |           |           |           |           |
| 当期収支差額    | 1,879,108  | 0        | 0         | 0          | 0         | 0         | 1,082,203 | 666,812   | 25,512    | 104,581   |
| 増加額合計     | 1,879,108  | 0        | 0         | 0          | 0         | 0         | 1,082,203 | 666,812   | 25,512    | 104,581   |
| II 減少の部   |            |          |           |            |           |           |           |           |           |           |
| 1 資産減少額   |            |          |           |            |           |           |           |           |           |           |
| 当期収支差額    | 1,152,127  | 74,446   | 146,667   | 316,642    | 266,199   | 348,173   | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 減少額合計     | 1,152,127  | 74,446   | 146,667   | 316,642    | 266,199   | 348,173   | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 当期正味財産増減額 | 726,981    | △ 74,446 | △ 146,667 | △ 316,642  | △ 266,199 | △ 348,173 | 1,082,203 | 666,812   | 25,512    | 104,581   |
| 前期繰越正味財産額 | 31,268,619 | 890,899  | 1,567,206 | 16,665,230 | 649,091   | 5,503,766 | 1,070,802 | 2,853,508 | 1,013,045 | 1,055,072 |
| 期末正味財産合計額 | 31,995,600 | 816,453  | 1,420,539 | 16,348,588 | 382,892   | 5,155,593 | 2,153,005 | 3,520,320 | 1,038,557 | 1,159,653 |

### 貸借対照表

平成 18 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

| 科 目           | 全支部合計      | 北海道        | 東北          | 東京          | 北陸          | 東海          | 関西          | 中国        | 四国        | 九州        |
|---------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|-----------|
| I 資産の部        |            |            |             |             |             |             |             |           |           |           |
| 現金預金          | 32,297,303 | 816,453    | 1,428,538   | 16,833,812  | 382,892     | 5,155,593   | 1,961,485   | 3,520,320 | 1,038,557 | 1,159,653 |
| 未収金           | 191,520    | 0          | 0           | 0           | 0           | 0           | 191,520     | 0         | 0         | 0         |
| 資産合計          | 32,488,823 | 816,453    | 1,428,538   | 16,833,812  | 382,892     | 5,155,593   | 2,153,005   | 3,520,320 | 1,038,557 | 1,159,653 |
| II 負債の部       |            |            |             |             |             |             |             |           |           |           |
| 一般会計勘定        | 480,000    | 0          | 0           | 480,000     | 0           | 0           | 0           | 0         | 0         | 0         |
| 預り金           | 13,223     | 0          | 7,999       | 5,224       | 0           | 0           | 0           | 0         | 0         | 0         |
| 負債合計          | 493,223    | 0          | 7,999       | 485,224     | 0           | 0           | 0           | 0         | 0         | 0         |
| III 正味財産の部    |            |            |             |             |             |             |             |           |           |           |
| 正味財産          | 31,995,600 | 816,453    | 1,420,539   | 16,348,588  | 382,892     | 5,155,593   | 2,153,005   | 3,520,320 | 1,038,557 | 1,159,653 |
| (うち当期正味財産増加額) | (726,981)  | (△ 74,446) | (△ 146,667) | (△ 316,642) | (△ 266,199) | (△ 348,173) | (1,082,203) | (666,812) | (25,512)  | (104,581) |
| 負債及び正味財産合計    | 32,488,823 | 816,453    | 1,428,538   | 16,833,812  | 382,892     | 5,155,593   | 2,153,005   | 3,520,320 | 1,038,557 | 1,159,653 |



財産目録

平成18年3月31日現在

(単位：円)

| 科 目        | 金 額           | 備 考  |
|------------|---------------|--|
| (資産の部)     |               |  |
| I 流動資産     |               |  |
| 現金         | 1,819,900     | 手許有高 一般会計 1,313,983<br>特別会計 14<br>支部会計 505,903   |
| 預金         | 505,786,365   |  |
| 当座預金       | 16,716,611    | 一般会計 (2口座) 16,716,611  |
| 普通預金       | 69,447,783    | 一般会計 (18口座) 38,149,837<br>特別会計 (1口座) 10,506,546<br>支部会計 (25口座) 20,791,400  |
| 定期預金       | 51,744,962    | 一般会計 (1口座) 744,962<br>特別会計 (3口座) 40,000,000<br>支部会計 (1口座) 11,000,000   |
| 郵便振替       | 357,877,009   | 一般会計 (1口座) 357,877,009   |
| 郵便定期       | 10,000,000    | 一般会計 (1口座) 10,000,000  |
| 未収金        | 121,366,330   | 学会誌・論文掲載料他 22,139,461<br>図書出版 68,631,747<br>研究会年間購読他 30,353,602<br>国際会議 50,000<br>支部会計 191,520<br>教科書 99,123,974<br>技術報告他 38,174,578 |
| 商品         | 137,298,552   | 仮払金全国・部門大会 9,597,553<br>仮払金その他計 3,252,843  |
| その他流動資産    | 12,850,396    |  |
| 流動資産合計     | 779,121,543   |  |
| II 固定資産    |               |  |
| 基本財産       | 20,000,000    | 定期預金 (1口座) 20,000,000  |
| 什器備品       | 15,861,415    | 会員管理・サーバー他   |
| ソフトウェア     | 61,714,216    | 投稿論文管理システム等  |
| 電話加入権      | 385,252       | 本部事務所  |
| 敷金         | 32,470,200    | 事務所借室  |
| 投資有価証券     | 85,249,915    | 株式10銘柄<br>(内特別会計9,728,215)   |
| 百周年記念資産    | 885,063,929   | 定期預金 (3口座) 613,000,000<br>土地・建物 272,063,929  |
| 信託預金       | 41,421,785    | 特別会計 (2口座) 41,421,785  |
| 退職給付引当預金   | 156,135,296   | 定期預金 (1口座) 156,135,296   |
| 特定事業積立預金   | 20,816,200    | 普通預金 (1口座) 20,816,200  |
| 寄付金受入特定預金  | 6,402,000     | 普通預金 (1口座) 6,402,000   |
| OA更新積立預金   | 20,000,000    | 郵便振替 (1口座) 20,000,000  |
| 記念事業積立預金   | 5,000,000     | 郵便振替 (1口座) 5,000,000   |
| 固定資産合計     | 1,350,520,208 |  |
| 資産合計       | 2,129,641,751 |  |
| (負債の部)     |               |  |
| I 流動負債     |               |  |
| 未払金        | 35,487,386    | 図書出版費 7,000,000<br>調査関係費他 3,000,000<br>その他 25,487,386  |
| 未払消費税等     | 1,500,000     |  |
| 前受金        | 174,656,540   | 次年度会費 174,641,262<br>年間購読 15,278   |
| 預り金        | 6,800,865     | 源泉, 社会保険料 6,787,642<br>支部会計 13,223   |
| その他流動負債    | 20,744,109    | 仮受金 全国大会 13,680,889<br>仮受金 その他計 7,063,220  |
| 流動負債合計     | 239,188,900   |  |
| II 固定負債    |               |  |
| 退職給付引当金    | 156,135,296   |  |
| 預り保証金      | 2,220,000     | 特別会計・事務所   |
| 固定負債合計     | 158,355,296   |  |
| 負債合計       | 397,544,196   |  |
| 正味財産       | 1,732,097,555 |  |
| 負債及び正味財産合計 | 2,129,641,751 |  |

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針並びに重要な会計方針の変更

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について  
総平均法による原価法
- (2) 固定資産の減価償却について  
定額法
- (3) 引当金の計上基準について

退職給付引当金は、職員の退職給付に備えるため、退職一時金については法人負担期末自己都合退職要支給額、企業年金については年金財政計算における責任準備金の金額から年金資産の金額を控除した金額を計上している。

- (4) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、立替金、前払金、支部会計勘定、その他流動資産、未払金、未払消費税等、未払法人税等、前受金、一般会計勘定、預り金、及びその他流動負債を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記3に記載するとおりである。

- (5) 重要な会計方針の変更<一般会計>

従来、人件費は管理費に計上していたが、当期より事業に直接的に係る人件費を事業費として計上する方法に変更した。この結果、従来の方法によった場合と比較して管理費が117,413,810円減少し、同額事業費が増加している。なお、これによる当期支出合計、並びに当期収支差額への影響はない。

2. 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科目      | 前期末残高      | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高      |
|---------|------------|-------|-------|------------|
| 預金      | 20,000,000 | 0     | 0     | 20,000,000 |
| 合計(基本金) | 20,000,000 | 0     | 0     | 20,000,000 |

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

- (1) 一般会計

(単位：円)

| 科目       | 前期末残高       | 当期末残高       |
|----------|-------------|-------------|
| 現金預金     | 420,215,825 | 424,802,402 |
| 未収金      | 121,773,168 | 121,174,810 |
| 支部会計勘定   | 0           | 480,000     |
| その他流動資産  | 17,144,610  | 12,850,396  |
| 合計       | 559,133,603 | 559,307,608 |
| 未払金      | 45,493,458  | 35,487,386  |
| 未払消費税等   | 2,500,000   | 1,500,000   |
| 前受金      | 177,577,630 | 174,656,540 |
| 預り金      | 6,821,913   | 6,787,642   |
| その他流動負債  | 23,948,797  | 20,744,109  |
| 合計       | 256,341,798 | 239,175,677 |
| 次期繰越収支差額 | 302,791,805 | 320,131,931 |

- (2) 特別会計

(単位：円)

| 科目       | 前期末残高      | 当期末残高      |
|----------|------------|------------|
| 現金預金     | 47,179,821 | 50,506,560 |
| 合計       | 47,179,821 | 50,506,560 |
| 次期繰越収支差額 | 47,179,821 | 50,506,560 |

- (3) 支部会計

(単位：円)

| 科目       | 全支部合計      |            | 北海道     |         | 東北        |           | 東京         |            | 北陸      |         |
|----------|------------|------------|---------|---------|-----------|-----------|------------|------------|---------|---------|
|          | 前期末残       | 当期末残       | 前期末残    | 当期末残    | 前期末残      | 当期末残      | 前期末残       | 当期末残       | 前期末残    | 当期末残    |
| 現金預金     | 31,430,318 | 32,297,303 | 890,899 | 816,453 | 1,567,206 | 1,428,538 | 16,656,330 | 16,833,812 | 656,036 | 382,892 |
| 未収金      | 70,900     | 191,520    | 0       | 0       | 0         | 0         | 8,900      | 0          | 0       | 0       |
| 合計       | 31,501,218 | 32,488,823 | 890,899 | 816,453 | 1,567,206 | 1,428,538 | 16,665,230 | 16,833,812 | 656,036 | 382,892 |
| 未払金      | 24,303     | 0          | 0       | 0       | 0         | 0         | 0          | 0          | 0       | 0       |
| 一般会計勘定   | 0          | 480,000    | 0       | 0       | 0         | 0         | 0          | 480,000    | 0       | 0       |
| 預り金      | 208,296    | 13,223     | 0       | 0       | 0         | 7,999     | 0          | 5,224      | 6,945   | 0       |
| 合計       | 232,599    | 493,223    | 0       | 0       | 0         | 7,999     | 0          | 485,224    | 6,945   | 0       |
| 次期繰越収支差額 | 31,268,619 | 31,995,600 | 890,899 | 816,453 | 1,567,206 | 1,420,539 | 16,665,230 | 16,348,588 | 649,091 | 382,892 |

| 科目       | 東海        |           | 関西        |           | 中国        |           | 四国        |           | 九州        |           |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|          | 前期末残      | 当期末残      | 前期末残      | 当期末残      | 前期末残      | 当期末残      | 前期末残      | 当期末残      | 前期末残      | 当期末残      |
| 現金預金     | 5,503,766 | 5,155,593 | 1,033,105 | 1,961,485 | 2,999,333 | 3,520,320 | 1,038,044 | 1,038,557 | 1,085,599 | 1,159,653 |
| 未収金      | 0         | 0         | 62,000    | 191,520   | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 合計       | 5,503,766 | 5,155,593 | 1,095,105 | 2,153,005 | 2,999,333 | 3,520,320 | 1,038,044 | 1,038,557 | 1,085,599 | 1,159,653 |
| 未払金      | 0         | 0         | 24,303    | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 一般会計勘定   | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 預り金      | 0         | 0         | 0         | 0         | 145,825   | 0         | 24,999    | 0         | 30,527    | 0         |
| 合計       | 0         | 0         | 24,303    | 0         | 145,825   | 0         | 24,999    | 0         | 30,527    | 0         |
| 次期繰越収支差額 | 5,503,766 | 5,155,593 | 1,070,802 | 2,153,005 | 2,853,508 | 3,520,320 | 1,013,045 | 1,038,557 | 1,055,072 | 1,159,653 |

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科目                    | 取得価額        | 減価償却累計額    | 当期末残高       |
|-----------------------|-------------|------------|-------------|
| <一般会計><br>什器備品        | 53,553,504  | 37,692,089 | 15,861,415  |
| <一般会計><br>ソフトウェア      | 73,905,624  | 12,191,408 | 61,714,216  |
| <特別会計><br>百周年記念資産(建物) | 28,131,763  | 4,456,071  | 23,675,692  |
| 合計                    | 155,590,891 | 54,339,568 | 101,251,323 |